



We Serve

紫陽

ライオンズクラブ国際協会 333-C 地区

地区ニュース

1991 ~ 92 No. 6 1992 年 6 月 15 日発行



友情の絆で広げる まごころ奉仕

目次

● 年次大会写真及びそのコメント	1
● 刎頸の友 地区ガバナー L. 吉田 政勝	5
● 年次大会報告 地区幹事 L. 渡辺 惇	6
● 第 38 回地区年次大会 提出議案 決議録	6
● 333—C 地区アクティビティ資金規則	8
● 年次大会にご参加ありがとうございました 年次大会委員長 L. 小泉 昭	10
● 地区年次大会を終えて ホストクラブの皆様御苦勞様	
年次大会委員長代行 L. 安島 嘉一郎	11
● 退任ご挨拶 地区幹事 L. 渡辺 惇	12
● 出逢う 地区会計 L. 竹田 良美	13
● 分科会の研究討論テーマ等	14
* A 分科会 会則・政策・会員・経理	
1. クラブ運営の民主化、会員の意識の違いをどのように吸収すべきか	
旭 LC L. 伊東 諒	
2. 質の高いテーブルスピーチを獲得する方法。例会を価値あるものとする最良の方法として	
佐原 LC L. 関 謙次郎	
* B 分科会 PR 情報・大会参加	
1. PR 大会参加分科会報告書	習志野中央 LC L. 佐藤 錦也
2. 内的 PR の一つ、クラブ会報について	千葉エコー LC L. 石川 忠正
* C 分科会 長期計画・リサーチ・指導力育成	
1. LCIF あるいは LCDF 等への寄付につき、税法上寄付金控除の受けられるよう制度の改正を求める運動の必要性	3 R 1 Z ZC L. 吉川 佳彦
2. ATC 資金の創設の意義について	地区名誉顧問 L. 小泉 昭
3. 新入会員研修のあり方と、指導力の育成	
長期計画・リサーチ・指導力育成委員長 L. 中村 清成	
4. 地区アクト資金制度に異論なし、地区ガバナーの意志が正しく伝播	
長期計画・リサーチ・指導力育成副委員長 L. 小西 宗仁	
* D 分科会 YE・LCIF・国際協調	
1. 東洋東南アジア地域を対象とする YE 受け入れおよび派遣の現状と将来	
地区 YE 特別委員 L. 青木 孝	
2. あき（秋）ない YE	地区 YE 委員長 L. 望月 武峰
* E 分科会 環境保全・合同 ACT	
1. 柏地区における合同 ACT の実態について	柏 LC L. 市村 衛
2. 合同アクティビティについて	船橋京葉 LC L. 川崎 隆二
3. 環境保全問題と水質の変化の相関問題	
4. エイズ撲滅についてのキャンペーンの必要性	下総中山 LC L. 石井 正
* F 分科会 視力ファースト・献血・献腎・薬物乱用防止・糖尿病教育・視聴力保護・言語障害・盲人福祉	
1. 視力ファースト 地区視力ファースト・献血・献腎推進委員長	L. 川崎 忠男
2. 盲人福祉と盲導犬 地区視聴力保護・言語障害・盲人福祉委員長	L. 椎名 益男
3. 盲導犬の育成とその活用について	柏中央 LC 会長 L. 谷口 喜彦
* G ライオネスフォーラム	
1. ライオネスフォーラム報告地区	LS 委員長 L. 村田 増雄
* H レオフォーラム	
1. 第 14 回レオフォーラム開催	地区レオ委員長 L. 笹本 瞭
● 松戸南 LC 認証状伝達式について	松戸南 LC 会長 L. 上杉 健司 30
● 富里 LC 認証状伝達式を終って	32
● 1/4 世紀の友情とひとときの訣別	33
● リジョンの頁 6 R	35
館山 LC 館山 LSC 鋸南 LC 館山中央 LC 館山北 LC 館山南 LC	
房州白浜 LC 房総勝浦 LC 鴨川 LC 鴨川 LSC	
● リジョンの頁 7 R	41
白子 LC 長南 LC 長柄 LC 成東 LC	
● 活動するライオンズ	43
● 編集後記	L. 蒔田 辰男 56

第 4 号から第 6 号まで、季節の花の絵で表紙を飾って下さったのは
菊池 明子氏（L. 藤田辰男推薦です。）

第38回 年次大会

千葉幕張メッセ で開催



▲千葉幕張メッセ周辺風景



▲三々五々集う 年次大会受付風景



▲厳粛且つ華やかに 第38回年次大会全景 背後にひかえるのは幕張西高校管弦楽部員



▲千葉県知事 沼田 武氏

祝 辞



▲習志野市長 荒木 勇氏



▲大会記念の弁論
演題は
「償いの気持ちを込めて」
市川北高校
沼田智織さん



▲代議員会分科会における熱心な討論



▲代議員総会全景

式典の花

鬼才のヴァイオリニスト
天満敦子さん(上)

時代の求めるプリマドンナ
中川真美さん(下)



▲吉田ガバナーより矢田ルテナントガバナーへ
(地区の伝統は引き継がれて行く)



▲にぎやかな前夜祭会場風景



▲珠玉のピアニスト前夜祭におけるアトラクション
戸田義明さんの演奏





▲次年度は千葉中央CAB第39回年次大会案内
ホストクラブの勢ぞろい

▼楽しいラッキーカード抽選



▶ 遠来のお客さま
台湾竹南LC
豊原中央LC



閉会のゴングを打つ
吉田ガバナ
ごろうさまでした



刎 頸 の 友



地区ガバナー L. 吉 田 政 勝

皆様へのお便りも最後になってしまいました。「光陰矢の如し」諸行事に追い立てられながら、アッという間の1年間でした。

昨年5月の佐原市に於きます年次大会でガバナーエレクトに任命され、6月にオーストラリアのブリスベーンに於ける国際大会の閉会式と同時にガバナーを拝命いたしました。

以来一年間の「友情の絆で拡げる まごころ奉仕」をスローガンに掲げ、重点目標10項目を設定させて頂き、ガバナー公式訪問、各Cの周年行事、結成式、CN、研修会、その他の会合に於いて常にライオニズムについてお話をさせて頂いて参りました。

先ずは和、親睦、友情、友愛の重要性を協調させて頂き「一緒に頸を刎ねられても何等惜しくない程の親しい仲」である所謂「刎頸の交わり」を一生続けて頂きたいとお願いをして参りました。

しかし残念なことは一名たりとも欠くることのなきようとの切なる願いにもかかわらず、私がCAB幹事の際、仕えた時のガバナー藤田定男名誉顧問以下30名の獅友がこの世を去ったことであります。志半ばにしてこの世を去られし之等先輩諸物故Lのみたま安かれと心から謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

この一年間先輩ガバナーのご指導と皆様方の絶大なるご支援、ご協力によりまして大変すばらしい成績を収め得ました。衷心より感謝と称賛の言葉を贈るものであります。

又かねてから懸案でありました「333-C地区ACT資金」を創設させて頂くことが出来ました。之等の資金はいつかは地区レベルに於いて、世のため人のため恵まれない人々のために有効に使われるものと確信いたします。

又LCのEXTについては実に5つのCの結成に成功しました。そして最近の日本では極めて困難とされているLEO、1Cの結成もやって頂きました。当該C並びにスポンサーCの方々のご労苦に対し、心から敬意と感謝の言葉を贈りたいと存じます。

又LCIFの1,000ドル献金のMJFには240名の割り当てに対して362名以上というすばらしい成績でした。なかでも浦安LCが会員58名全員がMJFになられるというすばらしい快挙をなし遂げて下さいました。

そして地区の一年間の総決算とも言えるべき年次大会も盛大且成功裡に終了することが出来ました。ホストCの皆様の献身的なご労苦に対し深甚なる感謝の意を表するものであります。

之等私に寄せられました熱き友情に感謝申し上げますと共に、次期矢田CABへも私にしめされた以上に絶大なるご支援をお願い申し上げましてお礼のことばに代えさせて頂きたいと存じます。

一年間本当にありがとうございました。

年次大会報告

地区幹事 L. 渡 辺 惇



1. 333-C地区年次大会は、4月26日（日曜日）、晴天の千葉市・幕張メッセ・日本コンベンションセンターを舞台として、盛会裡に挙行された。

参加者総数は2,125名、その内代議員は414名であった。

提出議案については、慎重な審議を経て、いずれも提案の通り承認可決された。

年次大会決議録を添付して報告に替える。

2. 大会の前日である4月25日、幕張メッセ内のホテルグリーンタワーにおいて前夜祭が挙行され、400名を超える出席者を得て、楽しく且つに賑々しい夜会であった。

3. 県立幕張西高校管弦楽部、ソプラノ歌手中川真主美、ヴァイオリニスト天満敦子、ピアニスト戸田義明氏らのご協力により、音楽色の高い年次大会であった。一つの特色といえよう。

第38回地区年次大会

提出議案 決議録

1992年4月26日午前9時30分より、千葉県・千葉市・幕張メッセ・日本コンベンションセンターにおいて、333-C地区第38回年次大会代議員会が開催され、提出議案の審議が行われた。各提出議案および審議の結果は、次の通りである。

第1号議案 指名選挙・国際理事立候補者推薦委員会提出議案

1. 次期地区ガバナー選出の件（地区ガバナー提出議案）。

次期地区ガバナー候補者は、

3 R 2 Z・千葉中央LC所属 L. 矢田常吉

1名である。

《決議》 原案の通り可決。

2. 次期地区ルテナント・ガバナー選出の件（地区ガバナー提出議案）。

次期地区ルテナント・ガバナー候補者は、

1 R 1 Z・下総中山LC所属 L. 松丸善次郎

1名である。

《決議》 原案の通り可決。

3. 333複合地区ガバナー協議会の決議を尊重し、

L. 土屋呂武 (337-A地区・福岡LC)

L. 山口雄司 (330-B地区・藤沢LC)

の2名を、日本からの国際理事立候補者として推薦する件(地区ガバナー提出議案)。

《決議》 原案の通り可決。

第2号議案 決議委員会提出議案

A) 会則・政策・会員・EXT・経理分科会

1. 複合地区会則改正の件(地区ガバナー提出議案)。

複合地区会則第18条1. および第20条20. 中の「地区指導力開発委員長」を「地区指導力育成委員長」と改称する。

理由は、国際本部において Leadership Development の日本語訳が「指導力育成」に統一され、日本国内でもすでにこの名称が用いられているので、複合地区会則中の語句も改めるものである。

《決議》 原案の通り可決。

2. 次期地区アクティビティ・スローガンを「知性豊かに 日に日に精進」と定める件(千葉中央LC提出議案)。

《決議》 原案の通り可決。

3. 第28回全国身体障害者スポーツ大会への協力の件(地区ガバナー提出議案) 本年10月18・19日の両日山形県で開催される第28回全国身体障害者スポーツ大会(同県で行われる国体の直後に開催される)に協力するため、例年の通り会員1人当たり金100円の協力金を拠出することを要請する。

《決議》 原案の通り可決。

4. ゾーン分割の件(3R1Zゾーンチェアマン提出議案)。

3R1Zは、現在9LCを以て構成されているが、①1ゾーンは8クラブ以内とする基準をオーバーしており、②国際協会の基本方針の伝達を徹底化するためにはゾーンは小さいほうが望ましく、③ゾーンの分割縮小化はクラブ運営の円滑化および活性化に役立つ、との理由により、3R1Zからゾーン分割の提案がなされた。具体的には

① 3R1Zを縮小し、所属クラブは成田LC、酒々井LC、成田グリーンLC、成田平成LC、富里LCの5クラブとする。

② 3R4Zを新設し、所属クラブは佐倉LC、四街道LC、八街LC、八街グリーンLCの4クラブとする。

というものである。

《決議》 原案の通り可決。

B) PR情報・大会参加・分科会

1. 会報地区誌発刊費用の一部会員負担の件(地区ガバナー提出議案)

地区財政特別委員会において、地区財政の健全化を図るため、地区ニュース発刊に関する経費の一部を会員から徴収するべきとの答申があり、第2回キャビネット会議においてこの徴収が承認された。

よって今後、会員1人当り年額金1,200円の会報地区誌負担金を徴収すること、但し今年度は年度期末のことでもあり、半額の600円の徴収に留めることの承認を求める。

《決議》 原案の通り可決。

C) 長期計画・リサーチ・指導力育成分科会

1. 333-C地区アクティビティ資金の創設、及びその規則制定について（地区ガバナー提出議案）。

第2回キャビネット会議において、333-C地区アクティビティ資金の創設が認められた。

よって次年度から、本年次大会において承認され制定される規則に基づき会員全員から一定額の献金を求める。なお会員あるいはその他の者は、本資金に特別の寄付をすることができ、右特別の寄付をした会員などは地区ガバナーから功労者として表彰される。

規則案は別紙の通りである。

《決議》 原案の通り可決。

2. 「ライオンズの誓い」文言改定の件（地区ガバナー提出議案）。

従来、333複合地区はライオンズの誓いの文言として「・・・友愛と寛容の精神を養い・・・」と述べてきたが、用語の改定に伴い「・・・友愛と相互理解の精神を養い・・・」とする複合地区が大勢を占めてきた。よって当地区でも、今後「・・・友愛と相互理解の精神を養い・・・」と称することに改定する。

《決議》 原案の通り可決。

D) 視力ファースト・献血・献腎・薬物乱用防止・糖尿病教育・視聴力保護・言語障害・盲人福祉分科会

1. 視力ファーストの意義を徹底するべく今後もキャンペーン活動を強力に押し進める（委員会提出議案）。

《決議》 原案の通り可決。

1992年4月26日

ライオンズクラブ国際協会 333-C地区

地区ガバナー L. 吉田 勝政

決議委員長 L. 上原 富美夫

333-C地区アクティビティ資金規則

第1条（目的）

- (1) この規則は、ライオンズクラブ国際協会333-C地区（以下地区と略称する）にアクティビティ資金（以下ACT資金と略称する）を設け、地区としてアクティビティを実行するためACT資金の運用あるいは管理を行うにつき必要な事項を定めることを目的とする。
- (2) ACT資金を活用して地区として行う具体的アクティビティは、地区全体の意志を結集して実行さ

れるべきアクティビティでなくてはならない。

第2条（資 金）

- (1) 1992年6月30日現在においてACT資金に対し寄付された献金の合計金をもって基本資金とし、資金総額は1億円を目途にする。
- (2) 資金は複合地区会則第25条に基く地区特別会計とする。

第3条（委員会）

- (1) 資金運営のために地区にアクティビティ資金運営委員会（以下ACT委員会という）を設ける。
- (2) ACT委員会は、地区ガバナーが特に任命する委員15名（特命委員と略称する）と、リジョンのチェアマンを通じて各リジョンから推薦された者を地区ガバナーが任命する委員7名（リジョン推薦委員と略称し、将来地区のリジョン数が増加した場合にはそれに応じて増員される）の合計22名の委員により構成する。

ACT資金設立趣旨の維持継続を図るため、特命委員の任期は3年とし、毎年特命委員の3分の1（5名）を改選して行くものとする。

リジョン推薦委員の任期は1年とし、毎年全員を改選する。

なお本規則制定後最初に任命された特命委員に限り、その内5名の任期は1年、他の5名の任期は2年、残る5名の任期は3年とする。

- (3) 委員会には、委員長1名および副委員長2名を置く、委員長および副委員長は、毎年、委員の互選により定める。

委員長はACT委員会を主宰する。委員長に支障あるときは、副委員長がこれに代わる。

- (4) 委員に欠員が生じた場合は地区ガバナーは直ちに補充任命する。

但し、補充された委員の任期は欠員となった委員の残存任期に限られる。

第4条（アクティビティの対象）

ACT資金を使用して実施するアクティビティは、ACT委員会において対象とすることが決議され、更に地区年次大会において承認されたアクティビティに限定される。

第5条（資金の運営ならびに報告）

- (1) 資金の運用、その額、方法等のACT資金の運営のすべては、委員会の決議に従って行う。

ACT委員会は、ACT資金の総額が金5千万円を越える迄は、元金を費消するACT資金の運用を行わないものとする。

- (2) 委員会の資金運営決議は、全委員の4分の3以上が出席し、出席委員の3分の2以上の多数決をもって行う。

委任状による出席および決議を認めるが、その場合の代理人はACT委員であることを要し、委任状には代理人名および議案についての本人の意見が明記されていなくてはならない。

- (3) 地区内会員あるいは単独クラブからACT資金運用の発案がなされた場合には、当該会員あるいはクラブが所属するリジョン推薦委員においてリジョンの意向を取纏めて委員会に発議するものとし、

この場合には委員長は委員会を開催し、この発議について協議するものとする。会員個人あるいは単独クラブからの発議は認めない。

(4) 実施されたアクティビティは、「地区ニュース誌」等により全会員に報告しなければならない。

第6条（資金の調達）

(1) 地区内各ライオンズクラブは、1992年7月1日から2002年6月末日迄の各年度毎に、各年7月1日現在の在籍会員1名当たり月額金100円の割合にて計算した金額（新たに結成されたクラブにおいては、結成日の翌月末会員数により計算する）を本ACT資金を積み増しするため新たな献金をする。右献金はクラブのアクティビティとして認められる。

(2) 会員、個人あるいは団体は、前項に定める献金とは別にACT資金に1口金5万円以上の献金を行うことができ、この献金をした会員、個人あるいは団体は、ACT資金特別功労者として地区ガバナーから表彰される。

表彰の細目は別に定めるものとするが、表彰に要する経費はACT資金から支出する。

(3) 資金から生ずる利息で費消されなかった部分は、資金の元本に繰り入れる。

第7条（監査）

ACT資金は、複合地区会則第25条の適用により地区監査委員の監査を受けた後、地区大会に収支を報告して承認を得るものとし、期末のACT資金残額は次期に繰り越されるものとする。

第8条（施行および改廃）

この規則は、1992年4月27日から施行し、以後、地区年次大会において、出席した代議員の3分の2以上に当る多数の決議により改廃することができる。

年次大会にご参加ありがとうございました

大会委員長 地区名誉顧問 L. 小 泉 昭



納得を得られる運営。を基本構想として設営した、第38回地区年次大会も、ご参加各位のご理解ご協力、ホスト関係者の献身的努力により、成功裡に終了することが出来ました。心から厚く御礼申し上げます。

数万人規模でも集会が可能な幕張メッセといえども、2千人が終始一堂で会合するにピッタリと言う訳には行きませんでした。流石に万端整った中で、メイン会場周辺、ロビー等の程良い混雑ぶりが、反って盛況感を齎してくれた様でした。

大会の内容は、行うべき中味が殆ど定着化されていて、今更新奇を演出す

ると云う訳けにもならず、たゞ、より良い雰囲気醸成に苦心された、中里事務局長、担当ホスト委員のご苦心は大変な事だったと思います。本当にご苦労様でした。それにしても、こゝ数ヶ月の間、ご多用のところ、実のある会合を重ねられたホスト4クラブの皆さんの取り組み姿勢には頭の下がる思いでした、更めて感謝を申し上げる次第です。

吉田ガバナーの、力強いスピーチに象徴される如く、地区ACT資金の創設を始め、重要案件も総べて熱心な討議のうえ可決され、矢田ガバナーエレクト誕生、次期スローガン等も目出たく決定され、次年度は、いよいよ複合地区併設態勢に向けての基盤が確保された状況を思い、ご同慶の念を深くいたしました。偏えに、ライオニズムの然らしむる所と言えましようが、年々の大会に感じる、このメンバーの熱気を、そのまゝ、クラブ発展の原動力となるよう念ずるところです。

吉田ガバナー選出母体の先達、藤田名誉委員長健在なりせば、の感も一入ですが、代りを務めた積りの委員長として、関係者一同が最大の努力を結集、参会者のご理解で、実り多い大会が出来た事を共に喜び、又、毎年のことながら、大会事務局、CAB事務局職員の皆様のお骨折り対しても、深い感謝の意をつけ加え、お礼の辞といたします。

地区年次大会を終えて

……ホストクラブの皆様ご苦労さま

地区年次大会委員長代行 L. 安 島 嘉一郎



第38回地区年次大会が、4月26日幕張メッセ、コンベンションホールで行われました。未だ残り日はあるにせよ1991～92年地区ガバナー吉田ライオンを主役として、この年間を締め括るセレモニーである大会を無事終了出来たことは誠に慶賀にたえない次第でした。その出来栄えは皆様のご批判にまかせるとして、とにかく大会関係者のご努力とホスト4クラブ（八千代LC、習志野中央LC、八千代東LC、習志野LC）のご協力なくしては、こんなに立派には仕上らなかったことを想えば、今更の様に嬉しく感じ、茲に深く感謝を申し上げたく思います。

準備を開始したのは前年の年次大会直後からでしたから、丸一年をかけて用意したことになるのですが、あれやこれやしている中に半年が経過して、本格的に仕事として始めたのは1月の正月気分のとれる20日近くになった頃でした。地区幹事渡辺惇Lの肝煎りもあって着実に月一回の合同実行委員会で話し合われた事の進行について各自責任遂行をモットーに、大会当日に焦点を合せた全ての準備を消化することが出来た

わけです。

登録料据置きを決めながら今迄にない会場費の高額支払いが重荷として考え方の底にあった関係で大方をライオンズマンの手造りで企画し準備をすることになったわけで、きっとその分が関係者の大きな負担になった事は否めませんでした。

この点の不明については紙上でお詫びを申し上げ、合せて積極的にご参加を戴き、いやな顔一つせず、ご自身の事の様に、ご協力をいたゞいたホストクラブの皆様の立派なライオンズ精神に強く畏敬の念を感じましたし、改めて労に御礼を申し上げます。多少の不備はあったにせよ大勢^{たいせい}に於て、曲りなりにも成功したこの大会の成果をご報告致しまして、皆様のご苦勞に報いたいと思います。

退 任 御 挨拶

地区幹事 L. 渡 辺 惇

昨年7月から始まりました私達の任期も、この6月で終わりを迎えました。今は只ホッと致しております。何かと不行き届きの点の多かったキャビネット幹事であったと反省しきりですが、努力はしたつもりです。至らなかった点は御赦しを願いたいと存じます。

それにしても大過なく今日を迎え得ましたのは、地区内メンバー各位、わけてもキャビネット構成員の皆様、ホームクラブの皆様、年次大会ホストクラブの皆様、内局の皆様、事務局の皆様のおかげであります。心から感謝しております。

任期の当初、幹事として地区運営に携わる以上はこうしてみたいという私なりの希望、方向を持っていたつもりですが、振り返ってみれば何一つ出来なかったのが実感です。経費のロスもさることながら、エネルギーのロスが大きすぎる、もう少し何とかならないものか、そのことを痛感しています。

年次大会の準備にしても、積み重ねられたノーハウが毎年無駄に捨て去られて行く、改善の余地のある部分でしょう。

次期矢田キャビネットの皆様の御健闘を期待し、私に対しましても今後とも変わらぬ御交誼を御示し下さいますよう御願いして、御礼の挨拶に替えさせていただきます。

出 逢 い

地区会計 L. 竹 田 良 美



さる研究所の発表によれば、今年度、全国各地の企業の新入社員に「社会人になって一番期待していることは」と聞いたところ「新しい出逢いがある」と云う答が男性1位女性2位と云う結果だったそうだ。

そこで小生もこの出逢いについて一寸考えて見た。人間一生を通しての「出逢い」を省りみれば、気の遠くなる程、種々雑多な「出逢い」がある。先ず両親、家族、親戚、友人、知人等人との出逢い、そして職業その他諸々……とどまることのない、打ち寄せる波の如く現われては消え、消えては現われると云う非常に楽しくもあり又悲しくもある、人の世の流れの原点とでも申しましょうか、そんなかぎりない流れの中で特に大切な「出逢い」とは一体何だろうか？ と自問したら……やはり天職とも云うべき、己の職業との出逢いではないかと自答できる。

生涯その職業を通して無限に広がる数々の素晴らしい出逢いは、この上ない無形の財産であり宝といえる。そしてその財産目録の筆頭にライオンズクラブとの出逢いを掲げ終生温存したい。幸いと云おうか今回、キャビネット会計として、県内各地のクラブヘガバナー公式訪問に随行、あるいは周年行事等に参加する機会を得、大勢の立派なL諸兄との交流を持つことが出来、正にラッキーだった。

今後はこの出逢いを礎として、更にライオニズムの高揚に努めたい。そして心に残る、素敵な新しい出逢いを求めて、日々を大切に過すことを願うものである。

最後に迷った末、やっぱり愚妻との good? な出逢いも追記の形にせよ、ピックアップしておかないとまずいかも知れない……。

分科会の研究討論テーマ等

A分科会 会則・政策・会員・経理

クラブ運営の民主化、会員の意識の違い をどのように吸収し処理すべきか

旭LC L. 伊 東 諒

まず「クラブ運営の民主化」についてだが、ライオンズクラブが、崇高な精神とその目的を追い求めていく組織であるならば、自ずからそれらの運営は民主的で公平なものであると言う大原則に立たなければならない。しかし、年次大会でこのようなテーマを研究しなければならないという事は、必ずしも理想的には行われていないという事なのだろう。考えて見るまでも無く日本という国には、まだまだ本当の民主主義が育って居ないと言われる。アメリカで生まれたライオンズクラブがそのまま日本の風土に合う筈も無く、一口に民主化といってもなかなか思うように行かないのも当然のような気がする。

しかし、高い理想を掲げて活動する事が要求されるライオンズクラブなればこそ、その組織を支える運営はより民主的に、より理想的なものでなければならない。そのためには皆んなで知恵を出し合い真剣な努力が必要である事は言うまでもない。

又、もう一つの課題である「会員の意識の違いをどのように吸収すべきか」については、これは本当に難しい課題ではあるが、この辺のところをクリアしなければクラブ運営の民主化どころか何もかも出来ない事となり、将来的には単一ライオンズクラブの存続にまで及ぶ重要な問題が含まれる不安材料である事に間違いない。

旭クラブの場合は、いづれにしてもきちっとしたルールがなければ約束事が約束にならないと言う見地から、

6年程前からクラブ独自の内規作りに着手し、3年懸かりで内規手帳初版本が完成。今年度一部改正された第2版が出版されクラブの民主化に一步近付いた運営が行なわれるようになっている。

それらに取り組んだ考え方や内容を紹介する事によって本日与えられた研究テーマに対する責任の一端を果たしたいと思う。

1. 「クラブ運営の民主化」について

旭クラブではクラブ運営の実態例を出来るだけ具体的に検証し、どの部分が民主的で有り又違うかの仕分けが必要であると考えた。

- ① 新会員の招請は会員の総意によって行なわれているか
- ② 役員人事に偏りはないか
- ③ 会議等の中は自由に発言できる雰囲気にあるかどうか
- ④ 会計業務が適切に行われているか
- ⑤ 運営全般に対し行き過ぎをチェックする機構を持っているか

2. 「会員意識の違い」について

メンバー全員がライオンズクラブに対する共通の価値感を持ち合う事が尤も肝要な事であろうし、その為には定期的に意見交換が出来る場を作る事が求められる。その際、幾つかの分野別に分けて共通認識の確認をす

るのも一つの方法であろう。

特にクラブ歴や年齢差からくる意識の違い、ライオンズ活動に熱心過ぎるメンバーから不熱心メンバーまでの意識の違いまで種々の違いがあると思われるが、一番怖いのはそれらの事柄によってクラブ全体がやる気を無くし、なげやりな方向に向かってしまう事だろう。

① 年齢差について

良い意味での老いたら子に従えの雰囲気作り……

② ライオン歴からくる差について

孤立させない工夫……

③ 不満からくる差

気軽に意見の違いを口に出来る環境づくり……

④ 熱心、不熱心からくる意識の差

メンバー個人の事情には寛大に……

質の高いテーブルスピーチを獲得する方法。

例会を価値あるものとする最良の方法として

佐原ライオンズクラブ L. 関 謙次郎

佐原ライオンズクラブのL. 関 謙次郎です。

先日佐原ライオンズクラブの計画委員会で、本日のテーマである『質の高いテーブルスピーチを獲得する方法』と『例会を価値あるものとする最良の方法』について話し合いを致しましたところ、若手メンバーの一人から、『委員長そんなのは、簡単でしょう、命と名誉と富み掛けて、世界に誇るライオンズクラブではありませんか、毎例会ゲストには今をときめく評論家（竹村健一・境屋太一・をはじめ吉本興業の上岡龍太郎）など有名人を呼び、例会食事は一流ホテルの高級料理（ステーキなど）を出前してもらえば言うことはないでしょう』と大変ユニークな発言がありましたので、すかさず私は『そりゃ明言だ、ただし迷言だ』とゆうことで、大変大きな気持ちに成りまして、委員会の後は花見で一杯と、こっちの方が大いに盛り上がってしまいました。

それはさておきまして、社会に対する奉仕が増大するにつれて、会員の増強は非常に重要なことです。新会員を得ることは文字どおり、クラブの増強ですが、しかし単に新会員を得ると言うのではなく、例会、会合に出席し、アクトに積極的に参加し、良く働くグットスタンディングの会員に成って頂くよう、クラブのリーダーは、指導育成しクラブの充実を計らなければなりません。

クラブメンバーのライオニズムの再認識に立っての、意識の強化がクラブの強化となり、メンバーの相互理解と一人一人の力の結集が、大きな奉仕を成しえるのです。

会員数の少ないクラブでも、出席率の高いクラブは、立派なアクトの成果を上げております。

私は前年度地区運営委員長として、333-C地区90クラブのマンスリーレポートの点検指導を職務としてまいりましたが、例会出席率の高いクラブが、素晴らしいアクトの実績を上げております。

会長、幹事必携には、クラブの例会出席率は100%を目標として、出来るだけ努力すべきであるが、平均出席率は、85%を下回ってはならないとなっております。

クラブの例会率の向上を計るには、申すまでもなく、魅力ある例会作り、新鮮で面白い企画を実施するよう努力すべきであり、会員の関心を維持し、古い会員の脱落を防ぎ、高い出席率を維持しクラブの強化向上を図ると言うことで、『例会を価値あるものに』しなければなりません。

『例会を価値あるものとする最良の方法』としては、例会には入念なる準備をして臨むこと以外ありません。例会の価値観はクラブ幹事を始め・ライオンテーマ・計画委員会の入念なる準備と配慮で最良となります。

例会運営には各クラブの特色ある運営を行なわれて居ると思いますが、佐原ライオンズクラブで私のクラブ幹事時代の例会運営体験を通して、お話をさせて頂きます。

私は例会の印象を強める意味で、例会プログラム用紙の様式を変えて見ました。従来B 5判3～4枚綴じの用紙を、B 5判の倍の大きさB 4判1枚に致しました、表裏両面印刷二つ折りと致しますと、B 5判にして4枚分となります。しかもコピー代は2枚分で済みます、その分をカラー用紙にしました。カラー用紙は例会の価値観を高め、印象を強め、記憶を助け、家に持ち帰っても何となく見てしまう効果があります。次にプログラムの内容の検討です。

例会時間1時間15分の中で、各委員会報告、理事会報告、幹事報告、承認事項、要請事項等クラブ幹事さんのマイクを通して訴え、相互理解を頂き各種内外行事に、参加して頂くと言うことは、大変な技です。以上のメニューの検討だけで1時間15分の例会時間は消化してしまいます。毎例会この繰り返しでは、マンネリになりかねない、しかしながらクラブ幹事は以上の事項を適確にクラブメンバーに伝えなければなりません。そこで例会プログラムの紙面の活用によって、時間短縮を計り1時間

15分の例会時間にゆとりをもたせられるよう、例会プログラムを作成いたしました。1ページ目は例会次第、2ページ目は各委員会報告、理事会報告、幹事報告、(承認事項、要請事項)、3ページ目は行事案内、クラブ内外の行事を新聞広告式にアピールして記載する、2例会くらい重複して掲載すると、要請が浸透し、参加登録が楽にノルマ達成し、全ての面でランクアップ致しました。最後の4ページ目は次回例会予告案内を記載、次回例会のビジター、ゲストスピーチの案内、出席100%の協力要請等を記載、3ページの行事案内、4ページ目の次回例会予告はクラブ幹事さんのマイクを使わなくても、十分効力を発揮致します。と言うことで例会プログラム用紙を変え、例会にメリハリをつけることを心掛けましたところ例会純出席も非常に高まり、例会も毎例会盛り上がり、クラブ内外の行事の参加も、全てにランクアップの動員が出来、クラブ幹事冥利に尽きる運営体験を致しました。

本当に手前味噌の話で、つたない話しですが、持ち時間、お時間の様ですので終と致します。

ご静聴ありがとうございました。

B分科会 PR情報・大会参加

PR・大会参加分科会報告書

習志野中央LC L. 佐藤 錦也

L. 杉浦 明 L. 蒔田 辰男

L. 矢田 常吉 L. 小石 税

司会進行 L. 山内 豊彦

記録 L. 佐藤 錦也

1. 委員長挨拶 1) L. 蒔田 辰男

(地区PR情報委員長)

2) L. 小石 税

(地区会員大会参加委員長)

2. 顧問挨拶 L. 矢田 常吉

(ルテナント・ガバナー)

3. ガバナー提出議案検討

決議委員会議案 1. 会報地区誌発行費用の一部会員負担の件。

1) 議案説明 L. 蒔田 辰男

2) 質疑応答

質問 1. (四街道 LC) 当初予算で決めるべきであり、例外的に徴集する事はなるべく避けたほうが良いのではないか。・・・基本的には結構だ。

応 答 (L. 蒔田) 地区ニュース 4 号に掲載の通り、地区財政特別委員会の答申も、少額であり、長期に渡ることは避けるべきとした上で、地区財政の健全かを図るため経費の一部を徴集すべきとの答申があり、第二回キャビネット会議においても承認された。

また、予算内で行なうのは尤もだが、キャビネットと会員間の情報伝達として欠かせない物なので、財政面だけであまり縮小、簡素化して伝達が充分出来ないのでは、趣旨に反するのではないか。経費節減も考えた上で現在の内容が妥当と考えている。皆様のご理解、ご協力をお願いします。

質問 2. (下総中山 LC) 半期で予算の 52 % の消化だが今後の動きはどうか

応答 1. (L. 蒔田) 予算の関係もあり 1～3 号までは、簡素化して発行したが、4 号からは会員皆様の意見も取り入れて表紙をカラーにした。この場合の 1 回分の費用は約 150 万となるが、会員各位に愛読頂くにはこの程度は必要ではないか。

応答 2. (L. 小石) 一時期広告によって経費をカバーして立派な印刷にしていた事もあったが、地区ニュースは会員個々の負担で発行すべきの声も多く、今回の提案となっただけきさつもあり皆様のご賛同を願いたい。

3) 提出議案承認・・・『満場一致で承認しました』

4) PR 情報、基調スピーチ (千葉エコー LC L. 石川忠正)

PR 情報委員は外的には LC のことを一般の方に分かり易く伝えることである。

内的には、クラブ会報が全ての点で最も適しているので、長期にわたって継続発行する事が必要である。(資料、「実践的会報づくりの話」を有効利用のこと)

5) 大会参加の意義について提案 (提案者 L. 小石委員長)

1. 年次大会等各種大会を、夫人同伴で参加できるような楽しい大会にしましょう。
2. 分科会の討論の時間が少ないので、研究テーマ等は事前に連絡して各ゾーン内等で討論するが、前もって書面にて提出するかして分科会ではそれをもとに討論すれば分科会の内容がより有意義なものになるのではないか。
3. 年次大会を盛り上げ、多数の参加を願えるための一つの方法としても、ルテナントガバナー候補を選出できるリジョンでは、最終的には名誉顧問会をとうに決定してもらうにしても、リジョンを挙げて PR 出来るような機会を設けて、大勢のメンバーに知ってもらうよう盛大に PR しあい、楽しい大会にしてはどうか。

6) 総 括 (顧問 L. 杉浦 明)



PR情報について

1. L. 石川のスピーチは、体験からの話なので今後の活動に有意義な内容でした。
2. 外的にはLCを十分理解してもらい、内的には国際協会、地区、他クラブの動きを会員に知らせる目的があり、これらは会報を利用する事が有効である。
3. 身近なマスコミの利用が必要、事後より事前に

計画内容を連絡する事が効果がある。普段から接触して大いに利用すべき。

大会参加について

1. 各大会、CN、周年大会には、大勢参加してもらう事が望ましい。特に新入会員を参加させる事がだいじで効果も大きい。大会には一人でも多く参加して友情を温めあう事に意義がある。

以上

内的PRの一つ、クラブ会報について（要約）

千葉エコーLC L. 石川 忠 正

まず、はじめにPRという言葉の定義だが、「現代用語の基礎知識」では、

「パブリック・リレーションズ。PRと一般に使われる。個人または組織体が、相手の意見とか態度を好ましい方向に指向する際に見られるもので、個人ないし組織体で持続的または長期的な基礎に立って、自身に対して公衆の信頼と理解を勝ち得ようとする活動」と定義。もう一つのテキスト「クラブ・PR委員長・手引き」（LCIF）では、簡潔にこう定義している。

「PRとは、自分の組織団体（LC）に関することを一般人に効果的に伝えること」

この手引きは、われわれにとって基本的教本となるもので、とくにPR担当者は是非座右にして頂きたい。

手引きの要点だが、第一はPR情報委員会の役割について、PRとは何か、PR委員長の責任などを述べ、第二に、PRを外的、内的二つの分野に分けて説いている。

本日の主題である内的PRについて少し詳しく述べてみたい。言葉のとおり、クラブ会員を対象にしたPR活動である。

クラブ会員に対し、単位クラブ、地区、国際の各レベルでの活動状況、ライオニズムの全面について、また、地域社会に於けるライオンズマンの役割について知らせ

る必要がある。それは何故か。

単位クラブがライオニズムに関して十分な理解と知識を持つ会員で構成され、そしてそのような会員が、すべての基盤になること。これが、ライオニズムの理念に添って、クラブ活動、すなわちクラブが成功する要件だからである。

内的PRのほとんどは例会で行うことができる。会長をはじめ幹事、委員長、ときにはTTが、クラブ活動の現況、推移、結果、予定、新たな提案、その他外部からの情報を、それぞれの立場から伝達する。PR委員長としては、クラブ会報の発行も含め、これらの報告や発言を総括的観点で捉え、内的PRの効果を図るのが役割だ。

内的PRの手段の一つクラブ会報は最も効果的だ。印刷物だから欠席した会員にも伝えられるし、音声と違い聞き逃しや聞き間違いがない。保存できるから記録にもなる。クラブ会報は①クラブの活動状況が分かりやすく、見やすく、過不足なく盛り込まれ②できるだけリアルタイム（最低限月1回位）に発行し③メンバー以外の人にも興味が持てる編集であること。これが理想である。

地区ニュースNO.3の拙稿「実践的会報づくりの話」は本日の発表の延長になるかたちのものである。

併せて参考の一助にいただければ幸いである。

C分科会 長期計画・リサーチ・指導力育成

「LCIF及び地区アクティビティ資金等への寄付につき、 税法上寄付金控除の受けられるよう制度の改正を求める

運動の必要性について」

3R-1Z ZCL 吉川佳彦

上記に対する個人献金については、将来益々必要性が増大し又永續すべき性質のものでありますが、1人でも多くの人々にこれらの献金に協力を願うため、これらの寄付金については、個人の寄付金控除の扱いとして正式に承認される様切望します。依って大蔵省に日本ライオンズクラブとして承認を申請する様、複合地区大会及び上部機関を通じ、ご提案願ひ度く願ひ上げます。ライオンズクラブの組織の良い点でもあり悪い点でもある、各役員の任期が一部の部門をのぞき一年で交替致しますので、かかる問題の解決はある程度の時間が必要と考えら

れますので、申し送り事項として引続き努力される事が肝要と思われれます。この種の件の取扱いについては、日本赤十字社をはじめ、多くの民間の各団体への寄付金(献金)についても寄付金控除として承認され、実施されている現況です。猶1992年1月発刊のライオン誌上(2月号)に新潟県のライオンズメンバーがこの件につき意見を述べられておられます。又この種の税法上の法則適用については、所得税法 第78条 第2項 第3号が該当されておりますので参考迄に。

以上

ACT資金の創設の意義について

地区名誉顧問 L. 小泉 昭

の呼稱は用いない。

歴代の地区ガバナーは、豊富な知識経験と、その年度におかれた立場から四囲を洞察し、より良い奉仕活動の前進と、地区の発展を願って年度方針を策定し、リーダーシップに基づいて協力を要請するものである。本年度、その目玉とも云うべき吉田ガバナー構想の第一が、「333-C地区・アクティビティ資金創設」にあった事は、ガバナー公式訪問時を始め、各種会合に於ける吉田ガバナーの熱い姿勢に現れ、大方の理解を得て今日に及んでいるものとする。

本件の創設及び、その取扱い規則の制定については、申す迄もなく、奉仕団体としての体質強化と、有効的アクティビティの取組みに資することを目的としたもので有って、現状では当地区独特のものでLCIFの地方版ではなく、従って、一部に口伝される様な「LCOF」

本件が、今大会の決議をお願いするに至った経過については、この為年度当初から特設された、検討委員会に於て慎重な論議が続けられ、第2回キャビネット会議で創設適当が答申され、次いで第3回会議で資金規則が承認されたことは、地区ニュースNO.4に詳記した通りであるので、今一度ご精読を賜りたい。

本大会長期リサーチ等分科会における、代議員各位のご討議を経て、大会成立されることはご同慶の至りであるが、之を以て最高の結論と自画自賛するものではない。全員参加による地区主導型の合同アクティビティ、LCIFにも関係する諸問題等々、今後にも論議が交さるべき要素は、肖無きにしもあらず、の考えも残らぬものではないが、それら地区ACT資金の運営に当っては、極

めて厳格な委員会審議が要求され、その都度の地区年次大会決議を経て実施に移されることは、資金規則に明示

の通りであり、ご明察を賜りたい所以のものである。

新会員育成について

長期計画リサーチ指導力育成委員会 L. 中村清成

長期計画リサーチ指導力育成分科会には、今期CABの重要課題が負託されております。

- (1) 333-C地区ACT資金の創設。
- (2) ライオンズの誓い、文言改定の件。

以上関連し展開された発表が、花であるならば、私の発表は地味で興味の薄いものかもしれませんが、この新会員育成は、地中に埋れた根の部分で、見ない地味な作業ですがそれだけに重要な部分であります。

LCが膨大な組織を掌握管理するためには、報告された数字に頼るしかありません、それもしかたないとしても、その為クラブ成績を上げるのに、数字に還元できるものに多く視を向け、数字に表せない地味な根の部分は、おろそかになってしまう。現行単位クラブの姿かもしれません。加てLC単年度交代の短絡性も要因となっているので、これは毎年度運営担当者の非のみではなく、管理手法と機構に多く要因があるが、要因は要因としてその条件下で、どう視動すべきかが問題かと思ひます。

如何なる長期展望も、現況分析を基に矛盾摘出し解明の上に予測は立つもの。ACT資金創設も、この良き例だと思ひます。

従来のLC奉仕活動の方向づけられた、規矩準繩に固執することなく、その短絡性による蝸牛角上論に終ることなく、地域割拠的なハードルを超え、具体的実践に踏切る良策も花火で終るライオンズ体質の中で、社会のニーズに対応した、長期展望に立ったこのACT資金創設ではないでしょうか、その為の強い指導力を発揮した、吉田ガバナーを得たことは、C地区としては幸いであつたと思ひます。

今期当委員会を担当するに際し、小西副委員長と協議し、上だけでなく、「下も向いて歩こう」と現行の根元部分、「新会員育成」の充実を取上げる、LCが今後共繁栄

して行くためには、新会員は貴重な財産です。この新会員育成に年1回位のリジョン、ゾーン等の合同研修会に任せ依存してはいないか？ 全体から見るとその威は深い。

新会員はクラブ活動を体験しながら、密着した指導の出来る、クラブ内育成こそ効果的だと思います。従ってクラブ内育成担当者を（新人養成係）として、1年間位預けるという定着性は必要です。

- ① 現在では地区内クラブのL歴は高くなつております。必携、ライオン誌、ライオンズスピリット、CAB編集の「新会員研修資料」等々の研修に必要な資料は充実しております。

現にこれらの資料を活用し、独自に研修資料を作成し質度の高い研修実施報告を頂き感服しておりますクラブもあります。

- ② 諸般の資料を整備すると、3年以上のクラブでは、必携による基本学習の任に当る人材は、充分存在します。唯しそのシステムを開発しないだけで潜在力はある。

L歴の古いクラブでは、会長経験者等の閑職より引出し、そのクラブの歴史等を加味し体験と知識の還元場に用いることも、クラブ活性化のステップともなるはずです。

- ③ 必携に盛られた「基本学習」はクラブ内で、R.Z等の合同研修会は、「全体レベルアップ型」として、新会員のライオニズム、の昂揚の場としLACTを通じ導い感銘を受けたものとか、その他新会員がライオニズムに抱く、未知な精神的純度の高いものとして、育成についての両面効果を計るべきかとおもひます。

いづれにしてもライオンズクラブは、その短絡的構造により、慣例化に流され易く上に向きやすい、ときには、それを支えている地中の根の張りに眼を向けることも必

要ではないでしょうか。

花は季節が来れば咲きますが、しかし同じ花でも根の

弱い木は小さな花です、地中の根張りの逞しい木は大輪

の花が咲ます、単位クラブでも同じこと。

地区アクト資金制度に異論なし

地区ガバナーの意志が正しく伝播 //

長期計画・リサーチ・指導力育成副委員長 L. 小西 宗 仁

◎……C分科会（長期計画リサーチ指導力育成）会場で、最も注目を集めたテーマ「地区アクティビティ資金の創設及びその規制の制定について。」の論議は、かねてより吉田地区ガバナーの強い要望事項であり、その意を受けた地区アクト資金創設検討委員会（委員長L. 小泉昭）の長期に亘る慎重な論議の積み重ねが、RC・ZCを通じて各クラブに正しく伝播され、加えて分科会の席上、地区の長老、L. 飯塚平八郎（松戸LC）から「時代の趨勢から奉仕の形態を見直し、再考の時期である。また合同アクト論も地区内の各ゾーン単位で実践されているケースも多く、漸やく成熟期に入った。この時期に地区アクト資金の創設の意義は大きい。賛成である。」とのちから強い賛成論により、地区ガバナー提出議案は、出席者全員の支持を受けると共に、「ライオンズの誓い文言改定の件」（寛容から相互理解へ変更し、地区内を表現統一とする）と併わせて全会一致で可決成立した。

◎……L. 中川都弘（7R・1Z・ZC）の軽妙な司会テンポとL. 桑島功（2R1ZZC）の機転のフォロー

で、制約された時間内で熱心な提言や意見が吐露された。

“会して議せず、議して決せず”とならぬよう、分科会の推進役鈴木行正RCをはじめ、総括責任者のL. 中村清成（地区委員長）の用意周到な事前チェックと各RC、ZCの協力体制が見事に結実し予想以上の成果を以て稔り多い分科会となったことが来会者の好評を呼んだようだ。この研究・討論の中で、次の三項目が提示された。

- ① アクト資金の創設の意義と強化、育成について。
（パネラー L. 小泉昭）
- ② LCIF或いはアクト資金等への寄付につき、税法上の寄付金控除の受けられるよう制度の改正を求める運動の必要性。（パネラー L. 吉川佳彦）
- ③ 新入会員研究のあり方と指導力の育成。（パネラー L. 中村清成）

◎……この分科会の議論の積み重ねと成果が、次年度に継承されることを希うと共に、関係者の真摯な奉仕への取組みとご労苦に対して心からの償いを、あえて報告レポートに付箋とします。

D分科会 YE・LCIF・国際協調

東洋東南アジア地域を対象とする

YE生受入れ及び派遣の現況と将来

地区YE特別委員 L. 青 木 孝

青少年交換事業が始まって30年を越えた今日曲り角

に直面している。それはアメリカ、カナダ、オーストラ

リア、ニュージーランドの受入れ及び派遣の人員が減少の傾向にあるとともに、東洋東南アジア諸国からの受入れ派遣の希望が増大していることである。しかし、わが国ではアメリカ大陸及びオセアニアに派遣を希望する者が圧倒的に多く、また英語圏からの受入れを条件とする家庭が多いので、地区YE委員会では現実と希望のバランスをとるのに苦慮することが多くなった。

さて、白人社会にあこがれを持つことは当然であろう。国土は大きく、文化が進んでおり、裕福であり、人間性も豊か、自然も美しい等から大きな期待を持つ。一方東南アジア諸国、台湾、シンガポール、マレーシア、タイ、韓国は、日本から見ると後進国であり、国土は狭く、貧しいと思われがちである。しかし、同じ東洋人としての親しみがあ、日本に対し憧れが強く、政治的安定度や治安についても心配は少なく、若者には戦争の被害者意識は見られない。そして文化の共通的特異性が経験できる利点も多い。来日生は将来国の指導者となるべき優秀な学生が選ばれる。これらの国のライオンは、経済界における指導者が多く、一般に裕福で家庭もしっかりし

ている。

ここ4年間毎年夏期及び冬期に2～3名、台湾、韓国、マレーシアからYE生を受入れ、本年春期はタイから2名受入れている。本年の冬期初めて4名マレーシアに派遣した。受入れについても派遣についても問題は起きず大へん好評であった。

YE生交換の価値あるACTの重要性に鑑み、東洋、東南アジア諸国に注目する必要がある、これらの国は更に開拓できる余地が大きい。それには、我々の意識改革、発想の転換が必要である。アジア諸国に対する指導的親善を増大するためYEの交流に大きな意義がある。具体的には、欧米諸国に派遣されたYEのOB生も資格があれば再度派遣も希望により実施する。アジアのライオンズクラブと提携しているクラブ、派遣生、受入生の繋がりによりクラブ対クラブのスペシャル交換を地区のプログラムに編入する等が考えられている。

クラブ国際協調及びYE関係者の御理解をいただき、東洋東南アジア諸国とのYE生交換の増大を期待している。

あき（秋） ないYE

地区国際協調 YE委員長 L. 望 月 武 峰

YE活動に御協力ありがとうございます。

冬の受入派遣、春の受入派遣、そして夏の受入派遣と一年中を通して、準備と毎月のオリエンテーションと、各クラブには、お世話になっております。

YEプログラムも32年前、6名から始まったYE活動も現況では、600名前後になり、活発になりました。これも諸先輩ライオンズの努力に依る賜物だと思います。発展しつつ、YE活動も最近、英語圏の来日生及派遣先等が20%位づつ少なくなり、YE委員会も選考が非常に難しくなりました。これを打破する為、333複合地区YE委員会は、独自に新規開発に努力して居ります。幸い英語圏のYE生の少なくなった分を東欧及東洋、東南

アジアで、カバーして居ります。各クラブにおかれまして、この事を良く理解して頂きご協力をして頂く事を考慮して、333-C地区年次大会 YE・LCIF 国際協調分科会に下記の事項を研究討論テーマと致しました。

記

1. 東洋・東南アジア地域を対象とするYE受入れ及派遣の現況と将来
 - (イ) 今後、東洋・東南アジア地域のYE活動に力を注ぐ
 - (ロ) 今後、東洋・東南アジア地域のYE派遣生は英語圏派遣生も再度派遣する事ができる。
2. 東欧地区からのYE受入れと派遣の問題

(イ) 次年度より333複合地区を窓口として受入する。

尚、東欧地区はドル不足の為、当分の間、日本ライオンズ各地区で旅費負担とする。

(ロ) 派遣生もできるだけ行う。

3. その他一般のY E受入れと派遣について自由討論

(イ) 受入派遣について、お客様扱いにしない。

(ロ) 費用を必要以上にかけない。

(ハ) 英語圏の受入派遣が少なくなった。(減20%位)

以上

E 分科会 環境保全・合同ACT

柏地区における合同ACTの実態について

柏LC環境保全委員長 L. 市 村 衛

本年度地区年次大会のE分科会に於いて、『環境保全に関する柏地域の合同アクトについて』と題して、発表いたしました。

ご存知の通り、柏地域には、湖沼汚染度日本一の手賀沼をかかえ、現在も柏市を始め7市町より生活廃水、工業廃水等がこの沼に流されています。

この沼の源流をたどりますと、『こんぶくろ池』という名の湧水池があり、山林からのしぼり水は大変貴重な聖水となっております。しかし、この池にも魔の手は忍び寄り、池の中にはタイヤは投げ捨てられ、林の中はゴミの違法投棄の山、古木は倒れ水の流れを妨げ、池は危機的状態でした。

そこで、昨年ライオンズ奉仕デーに『こんぶくろ池クリーン大作戦』と名を打って、柏4クラブの共同アクティビティを実施し、10トントラック10杯分のゴミを一日で収集いたしました。

その後、何回かの合同会議を開催し、現在手賀沼周辺のクラブ、そして汚染にかかわっている市町の15クラブが集まって、『手賀沼浄化準備委員会』を設立検討中

でございます。

この陣頭指揮を取っておられるライオンが、333複合地区環境保全委員長の元ガバナーL. 寺嶋周三で、“ライオンズだけで手賀沼浄化運動を展開するのではなく、周辺の自治体や各団体をまきこみ、研修、視察、PRを通して、積極的な奉仕活動を展開して、ライオンズはその中心となるべきである”との指導のもと、現在会合を重ねています。

古来から、『古川に水絶えず』とか、『飲水思源』などの故事がありますが、現代では、人間の手で環境を保全する努力をしていかなければならない時代になりました。

この宇宙に地球という惑星が誕生して47億年、この惑星の中で唯一、1度だけ水と空気をさずかった地球、この地球をたったの百年で汚してしまった現代人は環境問題という今、大きな課題を与えられました。この課題を克服しなければ、「我々の子孫に未来はない」といっても過言ではありません。333-C地区の皆さん、われわれの活動を長い目で見守って下さい。

合同アクティビティについて

船橋京葉LC L. 川 崎 隆 二

アクティビティと云う言葉は、もともと「活動・働き」を意味しております。ですからライオンズアクティビ

ティはライオンズクラブの「活動・働き」であると言えます。

ライオンズクラブの目的をやりとげようとするあらゆる行動を我々はアクティビティと呼んでいます。アクティビティは、金銭が伴うものと、メンバーの労力によってのみ達せられるものがあるのは皆さんがご承知の通りであります。ですからまずクラブの「目的」をはっきり理解しておく必要があると思います。ライオンズクラブは原則として、その地域社会で真に要求されていることを我々の眼で耳で足で探し出しその活動の方法を研究する事が必要であると思います。我々のアクティビティはクラブが自主的に取りあげクラブ単位で行うことが本義ではありますが時には一つの奉仕活動に複数のクラブが共同してアクティビティを行うことはそれが地域社会において要求されていることであればより効果的な場合もあると思われます。

2 Rでは今年度2 R R CのL、鈴木行正（船橋京葉L C）提案による2 R合同アクティビティが行われました。

これからその件につきましてR C提案から経過と結果をご報告させて戴きます。

目的は地域社会への奉仕と云う事で、千葉県船橋赤十字血液センターへ血液運搬車を贈呈しようと云うことです。

R Cが第一回ガバナー諮問委員会（1 Z '91. 8. 10・2 Z '91. 8. 5）に趣意書、自動車メーカーの見積書、仕様書を添えて議案として提出しました。その後の第二回ガバナー諮問委員会に各クラブのご返事を戴く事にしました。

R Cはその後Z Cともどもクラブ公式訪問時既に2 R 12クラブ中9クラブについては内諾を戴き、非常に良い感触でありました。第二回ガバナー諮問委員会（1 Z '91. 12. 2・2 Z '91. 12. 7）には2 R 12クラブ全部のご賛同を得る事が出来ました。そして'92. 1月末日迄に各クラブよりR Cの口座へご送金戴く事になりました。そして千葉県赤十字血液センターへ贈呈の申込書を提出し、自動車メーカーに血液運搬車の発注を行いました。そして約2カ月後の'92. 3. 16に贈呈式を行う事が出来ました。贈呈式には2 R 12クラブの会長、Z C、Z幹事等17名、センター側から8名、計25名の見守る内無事贈呈されました。

会計報告としまして

◎収入	1 Z 5クラブ	750, 000円
	2 Z 7クラブ	941, 500円
	T T研修時	22, 000円
	船橋京葉L C追加	27, 348円
	計	1, 740, 848円

◎支出	車両代金	1, 690, 848円
	贈呈式費用	50, 000円
	計	1, 740, 848円

アクティビティこそライオンズクラブの奉仕活動の特色とするところであって我々のモットーがI Serve（私は奉仕する）ではなくWe Serve（我々は奉仕する）である由縁であると思います。

環境保全問題と水質の変化の相関関係

上総L C L. 川 俣 雅 義

“緑こそいのち” 20年まえ1973年302 E-7地区のACTスローガン、地区ガバナーL、松原俊麿（新潟東L C）当時15 R、P R情報委員でこの言葉に基づいて“緑こそいのち” “水こそいのち”と水と緑に対して積極的にP Rしましたが、関心を示すまでに及びません

でした。そして15年たち1989年、333-C地区、ガバナーL、寺嶋周三（柏L C）ATCスローガン

“育てよう、緑の大地、住み良い環境” 私水と緑には緑がある様で・・・・CO²、酸性雨、地球の温暖化、オゾン層の破壊、海洋汚染、熱帯林の減少・・・産業廃

棄物、農薬、放射性廃棄物、食品、科学薬物汚染へ、第5 Rのテーマも“水と緑と命を”にRC、として懸命にPRし・・・

本年も“地球環境年”そして地球環境凡人会議、6月には“地球サミット”へと、現在地球環境に関して新聞、テレビでは毎日の様に報道されるようになりました。

しかし現実はどうでしょう。今まさに我々の回りに直接自然環境破壊が行われています。その一端を紹介しますと

千葉県を中心を流れる3本の河川、小櫃川、養老川、夷隅川、源は清澄山の清水を源流とし、県内でその規模が最大級と言われている小櫃川は、房総のチベットと呼ばれる房総丘陵に源を発して東京湾へと注いでいる。この小櫃川の上流は亀山ダム地点で二又になり本流と笹川とに分れ、本流と支流のツボイ沢になる。ツボイ沢は県下でも稀に見ることのできる景勝地である。丁度、三石山観音寺の南側に当たる谷で動植物の豊富なことでも知られている。溪流の中には小魚が群がり時折サンショウオも顔を出す。瀬せらぎの音と、カジカガエルの美しい声が響く峡谷には、十数ヶ所の滝が流れ、盛夏も涼しさを誘う景観である。河原には日本猿、鹿、狸、穴熊、などが水を求めてやって来る、又鳥類も多く、初夏の、オオルリの囀りは代表的なもので、コゲラ、ウグイス、山セミ、川セミ、キジ、山鳥、なども姿を現わしてくれる、この辺では特に植物の種類が多く、目についたものだけでも、五百五種類にのぼるといわれている、南限、北限といったものも多く見られる。注目すべきものを少しあげて見ると、谷筋では、樹木でオオイタヤカエデ、チドリノキ、ハクウンボク、シナノキ、アズキナシ、バリバリノキ、カゴノキ、オオモミジなどが見られ。

草本類や、シダ類では、サツマイナモリ、三石イノデ、オリズルシダ、ジャコウ草、岩タバコ、ショウジョウバカマ、イズノ島大文字草、紅シュスラン、ヒロウドシダ、大葉の八丈シダ、キョタキシダ、ナガサキシダ、ヒメカナワラビ、オオキヨスミシダ、等々・・・山の中腹から

尾根にかけては、清澄三ツ葉ツツジ、アオハダ、タイミンタチバナ、クロバイ、ヤマボーシ、山モモ、姫小松、モミ、ジャシャンボ等、数えあげればきりがなほの豊富な自然が残っており、レクリエーションや憩いの良き場所となっている。

然し、近年になって、この地にも開発の波が押し寄せ数年後にはダムやゴルフ場と化しこの素晴らしい自然は永久に消えてしまう事となっている。

この小櫃川も全長50 Kmの両サイドに10数ヶ所のゴルフ場があり、又、えだ川を遡ると、産業廃棄物のメッカとなっている、又科学薬物汚染？・・・近年癌により数名亡くなった部落があるときく。

そして数年後にはアカデミアパークの発展により河川の汚染は益々加速され、そして現在一番川下を堰き止め飲料水として使用、何故上流の亀山ダム（工業用水ダム）の水を飲料水として使われないのか？・・・・なぜ一番川下の水を工業用水に出来ないのか？・・・・疑問視されている。

地球上では、ごく小さな点にも満たない人間だけのために、こうした自然が失われ破壊されて行くことは誠に残念でたまらない。自然は人間だけのものではないはず、私達はこの自然を先祖から借り受けているものであり今、より以上豊かなものにして子孫へ引継ぐ義務が有ると思う。

私は、神は地球を破壊するために人類をつくったのでは無く、地球を守る為に人類をつくり、動植物を守り、地球そして、宇宙を守る為、貢献すべきだと思う。

元、東京大学教授であった筒井迪夫博士は定年退官にあたっての最後の講義で、一般聴衆を含めた多くの受講者の前で、“山と木と人間との調和のとれた森林文化の創造こそ人間性回復になくてはならない環境資源”と力説し満場の拍手の中を退任していったと報じられています。

エイズ撲滅についてのキャンペーンの必要性

下総中山LC L. 石井 正 勝

私は、333-C地区1R1Z下総中山ライオンズクラブ23代会長石井正勝です。本日38回年次大会の場を、かりまして、心の内に秘る思いを、提案するわけでございます。現在テレビ、新聞、雑誌、などで報道されている。

世界人類にとって、もっとも、大切な大問題です。それは、エイズでございます。21世紀を背う、若者にとっては、大変重要なことがらではないでしょうか。ただ、たんに同性愛者、特殊な立場の人達の問題でなく、今や健全な生活をしている、一般人、若人、子供に、広がり、刻々と、事状は変化しています。つい先日、の、発表で、劇症エイズ、エイズは感染後通常二年から十年の潜伏期間を経て発病するが、感染後わずか八カ月で、発病し、間なく死亡した初の症例も日本感染症学会で、発表されました。このような、数々の事実を知り、このエイズ問題を重要と思い、この場をかりて、議題提案を致すわけでございます。

私は専門家では有りませんので、知識は、ありませんが、人間の生命をうばう、おそろしい現代病、戦の中で使用される、細菌兵器にも似た恐怖を感じるわけでございます。ぜひライオンズクラブ会員の方々の御理解をたまわり、エイズ問題を取り上げ、日本だけでなく、世界的ライオンズクラブの重要活動事項としていただきたいと思っております。



F 分 科 会

視 力 ファースト

地区視力ファースト・献血・献腎推進委員長

L. 川 崎 忠 男

視力ファーストの中身は、視力保護、糖尿病予防、角膜移植、盲導犬（盲人福祉）等が交錯しているので、三つの委員会が研修テーマの選定をした。

構造基盤

失明は、予防できる。また、治療できるものである。しかし、多くの地域では必要な治療や手術を施す制度に欠けている。治療や手術がもっと簡単にできるように効果的な構造基盤を築こうとするのが、視力ファーストであ

る。世界に4000万人以上いると言われている盲目の方々に、国際的視野に立った奉仕をしようと国際協会が6年計画で推進しようとするものである。4000万人のうち、80%の方々は開発途上国に住んでいる。

ライオンズクラブは伝統的に失明とたたかう活動を行って来たが、失明者が増加している傾向を逆転させ、その増加を抑える必要性にこたえてライオンズクラブ国際協会は、LCIFを通じて「視力ファースト——失明とた

たかうライオンズクラブ>を実施することに決めたのである。

以上を骨子とした資料を作成（国際協会からのものライオン誌からのものを集約した）配布し、視力ファース

トの目的、キャンペーン計画、予想される事業、等を研修、尚ビデオ、失明と闘うライオンズを上映し一層の御理解と御協力を訴えた。

盲人福祉と盲導犬

地区視聴力保護・言語障害・盲人福祉委員会

委員長 L. 椎 名 益 男

年次大会F分科会で、当委員会は盲人福祉の問題に関連して盲導犬をとり上げました。今年度実際に盲導犬のアクティビティをして下さった柏中央LC会長L. 谷口喜彦と財団法人栃木盲導犬センター施設長福岡義明様から盲導犬に関するご講演を頂きました。連れて来て下さった盲導犬は、「リリー」と云う名前の2才の雌ラブラドル・レトリバー犬で、非常にかしこく、そして、ぬいぐるみの様に可愛いらしかったので、代議員会前のロビーでも人気のまよになりました。私はN響の定期演奏会の際、何回もNHKホールで盲導犬を連れた女性の方にお目にかかって居りますが、2時間にも及ぶクラシックの演奏の間、身じろぎもせずにごの方に寄り添って居る盲導犬の姿に感動いたして居ります。盲導犬のお陰で積極的に盲人の方が外出も出来、また、一人暮らしの場合は特に心の支えとなってくれるとの事です。盲導犬は歩行が速く、健常者を追い抜いてしまう程なので、盲人の方に自信がよみがえり、非常に健康になられるそうです。盲人の方が白杖で歩いていた時は誰ひとり声をかけてくれる人が居なかったのに、盲導犬と一緒にすると「可愛いですね。」「偉いですね。」等々沢山の人達から声をかけられ、挨拶を交わせるようになり、コミュニケーションがとれ、友人も沢山出来たとの事です。栃木盲導犬センターでは現在35頭の犬達がきびしい訓練に励んで、居るそうです。先ず、生後50日前後の仔犬を盲導犬の訓練が始まる1才まで、一般家庭でパピーウォーカー（飼育奉仕者）により愛情豊かに飼育され、1才になってセン

ターに入所した候補犬は、8～10月間盲導犬として必要な服従訓練や誘導訓練を受け、最後に盲人と盲導犬が安全に歩行できるように、約4週間の合宿による歩行指導があるそうですが、訓練した犬の3割前後しか正規の盲導犬になれないそうです。県の盲導犬育成給付補助制度で、一頭約150万円の補助金が支給されますが、盲導犬一頭を購入するには全体で約350万円の費用がかかるとの事です。柏中央LCではチャリティコンサートと募金箱の設置により200万円もの善意のお金を集められ、盲導犬を持ちたいと希望される盲人の方に盲導犬を寄贈されました。盲導犬を持ちたいと希望する盲人の方は全国で約6000人も居られ順番待ちの状態との事です。千葉県には現在13頭の盲導犬が居り、因みに柏中央LCのチャリティコンサートでデモンストレーションされた盲導犬は千葉県富山町の50才の男性の処に居るとの事です。盲導犬の訓練の労力も費用も大変ですが、盲導犬が盲人にとって如何に重要であるかを再認識させて頂きました。



盲導犬の育成とその活用について

柏中央LC会長 L. 谷 口 喜 彦

この度、私どもクラブが、第38回年次大会において、F分科会の盲導犬の育成と、その活用についての体験発表のチャンスを与えられたことに、深く感謝とお礼を申し上げます。

さて、1991年より国際大会で承認されました視力ファースト6年間継続事業で、私どもクラブも16年目のクラブとして、まず、視力ファースト委員会を設け、1年目として何を行うべきか検討していたところ、現在、日本には盲導犬が約750頭、千葉県には13頭活躍していますが、盲導犬を必要としている人は日本全国で5000人とも6000人ともいわれています。

外国では、アメリカ10000、イギリス5000、ドイツ、フランス、イタリア、スウェーデン、カナダ、オーストラリア、旧ソビエトなどは1000頭以上の盲導犬が活躍しています。

この様な現状を見ますと経済大国日本は福祉の面、特に盲導犬に関しては二流国であるようです。

そして、柏にはまだ1頭も居ないことを知り、一人でも視力障害者が健常者と同じように生活出来たらと考えました。

そこで1Rリジョンチェアマン上原L. (柏中央)
地区役員川崎L. (下総中山) 椎名L. (千葉) のご

支援を頂きながら黒磯LCの味田L. のご協力を得て、“盲導犬を柏に”をキャッチフレーズに早稲田大学のグリークラブとハイサティ・オーケストラを招き、チャリティコンサートを開き、その収益金を盲導犬の購入代にしました。

柏市役所福祉部に盲導犬を必要とする人を依頼しました。しかし、希望すれば誰でも持てるわけではなく、条件が色々ありまして、まず持ち家であること、年齢は18才以上であること、視力障害が1級すなわち重度の障害であること、又重複障害でないことが条件です。

それから、盲導犬を育成するのに生後50日位から1才まで愛情たっぷりに育てられ1才から1年間厳しい訓練を受け、最終的に1/3しか卒業出来ません。次に4週間盲人と共同合宿訓練が始まり、歩行はもちろん、盲人が1人で犬の世話ができるように、餌の与え方、排便のやり方と後始末、日常の犬の健康管理などの指導します。

そして、初めて盲人の目となり、杖となっていくのです。一口に盲導犬をさしあげるといっても、大変である事が、体験をしてみて初めてわかりました。

これからも運動を続けて行きたいと思いますので、メンバーの皆様のご理解とご協力を頂ければ幸いです。

G. ライオネス・フォーラム

ライオネス・フォーラム報告

地区LC委員長 L. 村 田 増 雄

第14回年次大会ライオネス・フォーラムは、ライオンズクラブ・インターナショナルにふさわしい、幕張メッセ国際会議場で開催された。

定刻に地区内13ライオネスクラブの代表が入場、顧問である平井地区名誉顧問始め担当役員着席、清宮LS委員の司会によって開会された。

特に、今期は、国際理事会の決定に基づいた、国際会長通達「ライオネス・プログラムの完了、次年度より、其の業務を行わない」との事により、当地区では複合地区ガバナー協議会で其の事業を続行する事になった。

その件の確認を行い。平井顧問より尚一層のご活躍をと挨拶があった。その後LS委員長より今期総合的実績について話があり、本日のメインテーマである「世界の恵まれない子供達」と題したSr.カルメン・ペルムイ先生の講演を拝聴する。Srはスペインで生まれ東京オリンピックの年に来日された、大いの親日家である。ここに其の概要を報告します。今世界の子供達は、アフリカ・東南アジアの諸国を始めとして、経済的に、物質的に苦しみ、其の煽りは一番弱い子供達に重く掛っている。さて今の日本の子供達はどうか？、私達外国人の立場から見ると、けっして恵まれて居るとは思えない。不思議に思う人が多いかもしれません。経済的に恵まれ、物も有り余る程有り、そんな日本の子供達が、なぜ自殺をするのでしょうか。それは精神的に貧困だからでしょう、子供が要求する物をあたえてさえいれば幸せ？と思って居る大人がいかに多いか、

私が日本へ来た当時、まだ一家団欒、近所づきあいもあり、とても愛情が有る国でした。今見ると何も無い。経済大国になったら、今迄の宝物を一つ一つうしなっている様に思える。家がほしいと云われ高いお金を都合して遠い所に家を建て、日本のお父さん大変、朝暗いうちからお勤め、満員電車につめられ、ローンや子供の教育費カセがなくては、だから家族との話が出来ない、子供と会うのは一ヶ月に何日、子供は小さい時から、勉強・勉強、学校から帰ると塾、稽古事、これまた朝から晩迄、日本人、セカセカ忙しい顔の色悪い、そして目がキツイ、私達外国から来るとそう思います。

日本の教育間違っているように思います。子供はおおらかに、そして人のため愛情を以って接する心をおしえる。自分の為社会があるのではなく、社会があって自分が有る事を教育する必要がある。将来の事考えると今の日本の子供恵まれていないと思います。

私達の修道女会は世界各地に人を派遣して居ますが特

に、ザイール・アフガニスタン・フィリピン・等々、経済的に貧困な国が多くあります。フィリピンの子供達、食物もなく、一日一食、それも良い方ですが、家族が少ない食事を分け合い、揃って食事をしている時本当に幸せそうな姿が見られます。飢えて死ぬ人は多いが、自殺する人、特に子供で自殺する者など一人無い、ザイールは今物が無く、お金も無く、学校も小・中・大学まで、先生の給料が払えず、閉鎖されています。開校の見通しは全く無い由、昔の様に物々交換で生活して居ます。薬も無く病院も立ち行かず、患者は死を待つばかり、私達修道会も病院を建て運営して居り、各国からの援助で薬もあり活動して居ますが、他の病院が動いて居ないので患者があふれて居るそうです。これは現在です、つい二・三日前に来た手紙です。もちろん子供達が多く含まれています。

日本では、子供達の給食が残る毎日バケツで何杯も捨てて居ます。今に食料が無くなったらどうするのでしょうか、農業をする人が少なくなり田や畑が無くなって行きます、若い人は、都会にあこがれ、フリーター（この言葉は外国にはありません）と云って定職を持たず。精神的に駄目になって行く様に思えます。

物質的・経済的に恵まれない子供達、また精神的に恵まれない子供達、私は今こそ愛をもって、これらを解決しなければなりません。私は六月からフィリピンへ参りしばらくその国の子供達の処で働きます。ライオンズクラブの方々も立派な社会奉仕をして居られ心から敬意を表します。以上のようなお話があり私達も奉仕のあり方を勉強させて頂きました。



H レオフォーラム

第14回レオフォーラム開催

地区レオ委員長 L. 笹本 瞭

第38回C地区年次大会代議員分科会会場において、LEO5クラブ50名の参加の上開催されました。

先ず4月19日結成式が上げられたばかりの銚子中央レオクラブの紹介があり、万場われんばかりの拍手の歓迎を受け祝福されました。会式次第に添って、柏グリーンLEO、C幹事 横田江美さんの司会にて進行されました。顧問に地区名誉顧問L. 橋口一夫のご出席をいただきました。

記念アクトは、今回は前年に引き続き

長崎普蔵岳 災害協力募金を行いました。

時間の制限上30分位でしたが、20名のレオC員の募金係5組に別れて、広い会場前にてライオンズの会員に呼び掛け、¥78,000—のご協力をいただきました。一方30名にて、次年度の募金用貯金箱（毎年ニッカーウ

イスキー柏工場さんのご協力）作成、1年間各クラブで集められた募金の計算作業が行われました。集められた金額が合計¥150,501円になりました。小・中学生が高校生の指導につき真剣に取り組んでいる姿が印象的でした。

最後に、ライオンズアローを全員で高らかに斉唱され、再会を誓い合って閉会となりました。

会がスムーズに運び終わる事が出来たこと、レオフォーラム担当・副委員長各位に敬意を表す次第です。

各レオクラブ顧問のライオン各位におかれましては、早朝より往復の引率・会場にてのご協力ご指導に対し、心中より感謝申し上げる次第です。また、地区レオ委員

L. 常世田・L. 岡村理 共々1年間ご協力ご指導ありがとうございました、ご苦勞様でした。

松戸南LC認証状伝達式について

松戸南LC会長 L. 上 杉 健 司

私たち松戸南ライオンズクラブの認証状伝達式は5月9日（土）、あいにくの雨模様にもかかわらず、宮間松戸市長、倉田参議院議員、井奥衆議院議員、をはじめとすご来賓各位、ライオンズクラブの各地区役員の方々、また各ブラザークラブ皆様など620余名のご出席を賜り開催することができ、333-C地区吉田ガバナーより国際協会の認証状が盛大かつ厳肅のうちに無事伝達されました。

当日は県外から茨木八千代ライオンズクラブ、県内からも房総勝浦ライオンズクラブなど50クラブのご登録をいただきました。特に松戸市の先輩4クラブすべてが例会振替をして下さいましたことには大変嬉しく、同時

に今後に対する大きな励みにもなりました。松戸東ライオンズクラブのスポンサーで昨年12月1日結成式を行いました時は33名でしたが、チャーターナイトは37名のメンバーで迎えることができました。ライオンズクラブの何たるかもわからない37名が記念式典、祝宴を開催できたのもスポンサークラブの並々ならぬご指導があったお陰と感謝しています。

チャーターナイトまでのスケジュールはスポンサークラブのEXT委員会を中心としてご示唆いただきながら作成しました。しかし、メンバーが実際に意識しチャーターナイトへ意欲を燃やしたのは2月16日の幕張メッ

セライオンズクラブのチャーターナイトを拝見した日からでした。会場周辺の心づかい、登録の受付から式次第・祝宴の進行状況など一つ一つが勉強になりました。公式的には例会（理事会）8回、臨時の理事会3回というわずかな回数で実施できたことはメンバーのチームワーク以外のなにものでもないと思っています。しかし、この陰には四つの部会（総務・記念誌・事業・式典祝宴）の寝食を忘れた数知れない打ち合わせがありその集大成につながったと思っています。自主性を尊重するクラブの方針が全メンバーの気持ちを盛り上げたようです。

もう一つ、第1R、第2Rの36クラブを全員が手分けして例会PR訪問に伺ったことも意識の向上につながりました。訪問先での歓迎ぶりや、自分たちの知らない例会形式などを経験してもどったメンバーが生き生きと例会で報告してくれたことが走馬灯のように思い出されます。

盛大かつ厳粛に行われた認証状伝達式、オールデイズのアトラクションを中心とした祝宴。ご参会下さいました皆様にご満足いただけたか不安はありますが私たちチャーターメンバー37名にとって、一生の思い出として胸の中に刻まれたことは間違いありません。チャーターナイトは終わりましたが、これからが私たち松戸南ライオンズクラブのスタートになるわけです。「友情で築こうクラブの和」をモットーとして、ここに結集した力を意義

のある奉仕活動、楽しいクラブライフにつなげるようメンバーのチームワークを更にみがき努力致します。

誌上をお借りして、ご出席賜りました皆様のご健康とご多幸を祈念致しまして御礼を申し上げます。

《記念事業》

1. 松戸市役所 しあわせ課 車椅子5台
2. 松戸市役所 おせわ課 車椅子5台
3. 松戸警察署 ビデオカメラ、三脚各1台
4. 松戸東警察署 テレビ、ビデオ各1台
5. 松戸市消防局 国際救助隊用スーツケース11個
6. 松戸市教育委員会（小・中学校） 掛け時計68台
7. 松戸市役所 こども課
松戸市子ども会育成会連絡協議会 バッジ一式
8. 松戸市青少年相談員連絡協議会 団旗1振
9. 松戸市ゆうかり学園 カメラ1台
10. 県立松戸つくし養護学校 テレビ1台
11. 県立松戸養護学校 教育図書及びカセット一式
12. 松戸市養護老人ホーム松風荘 マッサージ機1台
13. 社会福祉法人松の実会 ウォシュレット2台
14. ガールスカウト千葉26団 助成金として金一封
15. 船橋赤十字血液センター 献血事業

（メンバー全員献血）



国際援助活動の必需品スーツケースを制服姿の松戸市消防局の救助隊員に贈る。



次の出会いを楽しみに、吉田ガバナーを中心に手をつなぎ全員で、「また会う日まで」を合唱。幕を閉じました。

富里 L C 認証状伝達式を終わって

富里ライオンズクラブ会長

会長 L. 三橋 信夫



この度、富里ライオンズクラブは、成田ライオンズクラブの指導を仰ぎつつ念願の認証状の伝達式を挙行することができました。

関係各位の心温ま

るご指導、ご協力を感謝申し上げます。

富里町は成田空港に隣接する町で、今後、発展することは確実です。

この町の発展に寄与する、私達ライオンズクラブのメンバーは総勢40名で、発足認証とれました。ここまで到達するまでに全員が一丸となって、結成から認証式までライオンズ魂で励行し、小さな町としては多くのメンバーを作ることが出来ました。

ライオンズクラブメンバーには上、下のへだたりがあ

りませんが町長も加入されていていつも出席協力して下さいます。

又、認証式は成田市内のビューホテルで挙行了しましたが、吉田ガバナー始め350名以上の参加をいただき、心から感謝申し上げる次第です。

記念事業として身障者に愛の手をと、健全な青少年の育成のために少ない予算でしたが、実行させていただきました。

アトラクションとして歌手の仲村泰人が歌いまくり、ゲストに鈴木貴子が出演しました。今後、富里ライオンズクラブは、スポンサークラブの成田ライオンズクラブ指導をいただきながら、本当の奉仕活動に精進し、「誠実と平等、知性と信頼」のスクラムで地域社会に奉仕しなければならないと痛感しております。

終りに結成から認証まで多くの皆様方にご指導、ご協力を心から感謝すると共に厚くお礼申し上げます。



富里ライオンズクラブ誕生にあたり

成田LC 会長 L. 高岡恒雄

成田ライオンズクラブが20数年来富里にライオンズクラブを造ろうと、数々の試行錯誤をして参りました。時には、時世に合わず時期早々であると返されてしまい、又世相の要求でないとされ迎え入れられなかったのが実態でした。

今や富里町は、成田空港の衛星都市としてその発展は目覚ましく、変貌ぶりは想像の域を脱しています。

このように発展の途上で行政の手の届かぬ所が様々に出てきます。まいてや高齢化もその拍車を掛けているのが実態で、我々ライオンズクラブは、行政のお手伝いを嘗て出て世の中全ての人々が幸の実感を感じる為にも、富里ライオンズクラブを誕生させる事が、我々成田ライオンズクラブに取って今世紀最大の課題である事に命を打って三橋氏にその趣旨を説明しました。

「とりあえずこの件については、三日待ってくれ」と言われ小生その三日の日が非常に怖く、丁度出張の折でもあったので遠路よりその自宅にその夕方電話したら、三橋氏より連絡が無かったと言われ、非常に喜びました。

何故なら現会長の三橋氏は、気性が非常に淡泊で尚その指導力には、抜群の信頼がある為小生は、ああこれで何とか望みが出たと思い「これで行こう」と思いました。

一週間後三橋氏に電話をすると「何人かの人に一応話をした。まだその結果が来ていないので連絡出来なかった」と言われ小生は益々その実態感がわき、今後どのように進めるべきか？それには成田ライオンズクラブ先輩の考え方を広く同志に説明してもらう事だと思い、何度か富里メンバー有志と語らい、時には現ガバナー吉田L、リゾンチャーマン森野L、ゾンチャーマン吉川L、に來成を頂きライオンズクラブの目的、趣旨、方針、将来に対する方向づけの説明を頂きその時のニュアンスでこれは“いける”と全てを断定し結成会、結成式をあえて決めてしまいました。

一部には、時期早々と言うご批判もありましたがやはりチャンスは一度と断固方針通り、ご指導頂き世界の同メンバーの皆様は元よりこの地、この地域の大きいなる世の指導団体が結成されるに至ったのです。

どうかライオンズメンバーの全ての方々、富里ライオンズクラブが5月15日のチャーターナイトを機会に一本立ちし活動して行きますが、暖かいご指導、御鞭撻を重ね重ね御願ひしこの慶びをメンバー皆様に報告し、御挨拶とします。

1/4 世紀の友情とひとときの訣別

(3R～1Zの分割について)

3R 1Z ZC L. 吉川佳彦

3R-1Zは成田、佐倉、四街道の三クラブで20数年間、三クラブだけでゾーンを構成し子クラブを生まず、深い友情と信頼に結ばれてきみしたが、ここ数年の間に三倍増の九クラブに伸展致しました。これは種々の地域

の社会的現象の変革に依る事も伸展の事由の一つですが、成田クラブがエクステンションにかけた情熱が大いに与って力になった事と確信致します。

ライオンズ必携にもある如く「一リジョンは四～八ク

ラブにより編成するゾーンに分ける云々」とあり、又国際協会の基本方針の伝達を徹底化するためにはゾーンは小さいほうが望ましく、更にゾーンの分割縮小化はクラブ運営の円滑化及び活性化に役立つなど種々の理由により、この九クラブの分割を提案し実行に移すべく鋭意努力致しました。どのような基準にて分割すべきか。

- (1) 親クラブと子クラブの関係、
- (2) 地理的条件によるもの
- (3) 市町村別によるもの（三市と三町に分布）
- (4) 行政面によるもの（警察署、消防署管内など）
- (5) 古いクラブと新しいクラブの（混合割合）
- (6) クラブの会員数によるもの、

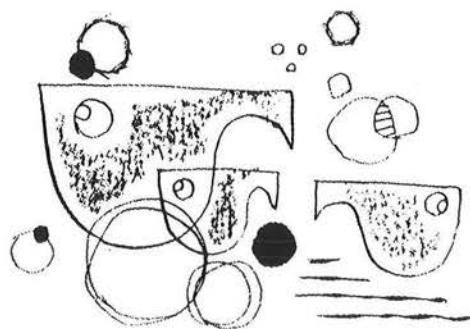
など種々のファクターを勘案し、又分割に関し各クラブ内外のコンセンサスをとりつける事が最も重要なため、数回の諮問委員会及び合同打合せ会などを重ね、分割案をまとめ、これをリジョンチャーマンを経由して、ガバナー

宛て趣意書を提出し、キャビネット会議での承認を得て、地区年次大会に提出される運びとなった次第です。このため、一区が二つに分かれ、四クラブと五クラブの編成となり、新しいゾーンが一つ誕生する予定です。又近い将来これらのゾーンを主体として新しいリジョンの誕生も、会員数その他を勘案して考究する必要があるのではないかと考えておる次第です。

このゾーン分割により、ゾーン内の風通しが良くなり各クラブの活性化にも大いに役立つ事と確信致します。

しかし約 $\frac{1}{4}$ 世紀近く、ゾーン内の合同新年会、合同懇談会、ゴルフコンペ（ゾーンチャーマン盃争奪戦）など永年の間の友情と一時的にも袂を分かたず結果となり惜別の情を禁じ得ません。しかしこれを将来に向かい大いなる前進のための一過程として甘受する必要があるのではないのでしょうか。

以 上



リジョンの頁

6 R

館山LC

今年の連休は天候に恵まれどこも人々と大変賑わったようですがバブル経済の影響が尾を引いていたように見受けられました。今年度も後二ヶ月新入会員五名の目標も六月には達成の見込みとなりました。出席率向上を計るため会員同志の親睦も兼ね年間を通し第二例会を夜七時よりと致しました出席率も大分良かったと思います。館山中央LCと合同例会も一回ではありましたが有意義に楽しく過ごすことが出来今後ゾーン内での合同例会を何回か実施して欲しいと思います。市立第二、三中学校体育会に前年に続き「はばたけ青春」と印刷したLC名入タオルを三年生全員に贈呈しLCをアピールしました。又本年度YE交換学生受入は湾岸戦争のため中止になりましたが幸に来年度の受入が決まりました。幕張メッセでの年次大会で「老人に対し心のふれ合いが如何に喜ばれ大切であるか」との高校生弁論発表があり子供達から色々教えられ感動致しました。金銭ACTは勿論大切ですがこれからの社会に於て心の奉仕労力ACTの大切さ重大さを痛切に考えさせられました。

館山LC

—— 育てよう 日本の桜を
深めよう シスタークラブの絆 ——

姉妹都市ワシントン州ベリンハム市に根付いた染井吉野100本が誇らしげに春を告げ、「育てよう 緑の大地 住みよい環境」はここベリンハム市に核分裂が始まった。樹は細くとも見事に咲き誇る染井吉野は二年間で実を結びベリンハム市空港入口の沿道は街路樹として桜の

名所になりつつある。1990年4月11日館山LC・館山LSCとベリンハム・セントラルLCの共同ACTとして染井吉野100本を植樹、当クラブ当時の会長L. 川合敏男・L. 村松卓他2名のメンバーが訪米、記念植樹のセレモニーに参加した。桜並木の中央には館山LCよりシスターシティクラブ・ベリンハム・セントラルLC染井吉野を贈ると銘記刻印された大理石の記念碑が春の陽光に輝く。植樹された桜の管理はセントラルLCメンバーの港湾事務所長が責任者となって育成管理をしている。



館山LSC

館山特別養護老人ホームでのACT

館山特別養護老人ホームの奉仕を始めて4年目になりました。

最初はホームの入所者が使用のおむつ縫いの奉仕を行っていましたが、その後、紙おむつに切り替えられ、その作業も必要なくなりました。

しかし、100人の体の不自由なお年寄りが生活するホー

ムでは、車椅子は「足」となる必需品で年が経てば傷みも出るので、「これを毎年贈りましょう」という事が決まり、本年度は3台を寄贈いたしました。一昨年から始めて合計6台を贈りました。

又、本年度は新たに誕生会に訪問し、お年寄りひと時をすごしております。

ホームでは入所者の寝たきりゼロを目指していろいろな試みをされていますが、その中のひとつに毎月の誕生会には全員を食堂に移動させて行っています。車椅子を使っただけの移動はとても大変で、ボランティアの手を必要としている事を聞き、お手伝いを始めました。クラブから贈られたピカピカの車椅子に座ったお年寄りの顔もほころんで、漸くメンバーも車椅子の扱いにも慣れ、会話を交わすゆとりもできました。

余興やゲームの輪に入ったり、昼食のお世話をしたりしながら一緒に誕生日をお祝いしています。

90才以上のお年寄りが3人という月もあり、当地方の高齢者比率の高さをあらためて実感いたしております。

又、昨年の秋には、ホームで初の運動会が行われましたが、地域に活動する多数のボランティアグループと共に参加し、お手伝いをいたしました。

ホームのお年寄りの丸く小さくなった背中には、本格的な高齢化社会の姿が見え、やがては自分達の問題として無関心ではいられないことを痛感いたします。



鋸南LC

「楽しい例会と潮干狩」

去る19日鋸南ライオンズクラブは、計画委員の設定により、例会振替に家族の参加をえて、君津牛込海岸で潮干狩を行った。

例会はJRのバスにて楽しく行われた。

50人乗りのバス一杯の参加をいただき、ライオン始め、ネスや子供達も大変になごやかで、一時間の車内は計画委員長司会により、時間のたつのも忘れる位の盛況振りだった。日頃の会員の活動にない友情と融和が感じられ一段とクラブ活動の励めになった。

海岸一ぱいの人の集まりの中で、家族の楽しい光景が、網の中につめられて、帰りの会員の笑顔は、明日への希望を約束する様に、其の重さも感じられない程だった。クラブ活動も家族の理解あればこそ、奉仕活動に専念出来るものではないかと感じられた。友情の絆で広げるまごころ奉仕も、一つの集まりから始まるものだと思います。

館山中央LC

私共のクラブは、常に次代を担うべき、青少年の健全な育成をメインテーマに、クラブ活動は構成されています。その基本資金獲得の為に、すでに10回を重ねた「チャリティーダンスパーティー」の開催。①青少年剣道大会。②高校生への奨学金制度。③館山ボーイスカウトへの助成。④ひかりの子学園への助成。などに充当されています。私共の活動に関わった青少年達は、すでに立派な社会人として真摯な姿に成長されています。継続こそ奉仕の基本でしょう。

母心のような温く優しい気持ちのライオンの集まりで



す。地球と人間にやさしい活動として、環境の美化と整備です。学校に桜を。村には梅を。街にはワシントヤシを。植樹して更に追肥や養生を行いました。丁度、親が我が子を大切に育てる心配りと全く変わりません。やはり大きく成長した暁が非常に楽しみです。

自ら真摯であるように、教養文化を学ぶ為にも、3年前から始めた「3分間スピーチ」「ゲストスピーカー」の招請。特に3分間スピーチは、回を重ねる毎に、話や内容の充実と馴れるにしたがって上手に話が出来、テーマも、自己PRから主張まで、フリートークの出来るように成長されています。人前で話すつらさよ、「サヨウ

ナラ」間近です。

子供の育成と自己鍛練による優しいライオンを目指しています。

館山北ライオンズクラブ

当クラブは色々なアクトのなかで青少年健全育成に最も力を入れています。

(その1) 一昨年と昨年計、百台の一輪車を船形、那古、三芳、八東、富浦の各小学校に寄贈しました。

本年4月中旬に継続アクトとして、館山北ライオンズ文庫代(その2)を前記各小学校に配布した折、本年4月から体育の部に一輪車が正式に取り入れられたとの事、各校とも北クラブのお陰で3、4年生を中心に上級生は殆んど一輪車を乗りこなし、運動会でも競技の一部に一輪車を使用しているとの事です、休み時間になると、順番待ちしながら楽しんでいるとの事、バランス感覚は女子生徒の方が男子生徒より優れているとの事でした。

(その3) 安房郡市の一部小学校(前記5校)を中心に初めた、ミニバスケットも年々盛んになり、現在は7校が参加しています。

(その4) 鋸南地区小学校水泳大会も継続アクトとして援助しています。

お面白い例会として今年初めて4月第一例会を花見例会として城山の公園で行いました、議事、報告はバスの中で済ませて、食事タイムがマットの上でと云う事になりましたが、夜の事だし、少し寒いかも知れないと云う事でしょうか、お面白い事に通常の例会と比べて年長者の参加が少なく若い人の参加が多かった事です。楽しい一時でしたが、来年も続けるのであれば照明を考慮する必要があります。

館山南LC

チャーターナイト 20周年記念について

館山南ライオンズクラブも、皆様の御陰をもちまして、

平成3年11月に、チャーターナイト・20周年記念式典行事を、館山市民センターで各クラブ会員及び、ご来賓に祝福され盛大に催す事が出来ました。

特に写真にも有ります様に、台北市松江獅子会が友好クラブとして、おいでいただきました。

その後、平成4年3月に、館山南ライオンズクラブとして、松江獅子会に招待され例会訪問しました。

例会訪問中に、日本国から訪問したとして、献血を行事として行って下さいました。

これを機会に今年度から、クラブ内に国際委員会を充足させました。

尚、継続ACTとして、館山南ライオンズクラブは、青少年野球大会と、安房郡市中学生バスケットボール大会を、次代を背負う青少年の育成として、毎年行っております。



房州、白浜LC

クラブ結成 25 周年を迎えました。先輩ライオンの築いたライオンズの奉仕の精神をモットーとして、継続努力 A C T としての献血運動及び福祉奉仕の一端として、本年も車イス 1 台の寄贈をいたしました。その他、中学校 1 校、小学校 2 校に対してのライオンズ書庫に、図書購入の金銭 A C T 又青少年育成事業としての金銭 A C T を行い、それぞれより感謝されております。



房総勝浦LC

1980 年 11 月に第 1 回南房総青少年剣道大会を開催してから、昨年で第 10 回大会を迎える。

第 1 回目は、小、中学生のみで 2 回目以降は高校の部を加えて開催し、現在では参加人数も、500 人近くとなり、大きな大会になりました。

勝浦市には、日本武道館研修センターがあり、武道大会開催には最適の地です。

研修センターから 2 Km ほどのところに国際武道大学もあり、恵まれた環境の中で各種武道による人間形成がおこなわれております。当クラブも、青少年健全育成を

目的として剣道大会を開催してきましたが、本年度からは柔道の部も入れて、南房総青少年柔剣道大会として、2 月に第 1 回目を開催いたしました。柔道大会は数が少ないので、関係者から大変喜ばれ今後の開催への大きなはげみとなりました。

当クラブ継続事業として、これからも力を入れていきます。



鴨川LC

我がクラブの自慢できるもの、それはメンバーの品行良く、いつもなごやかな集いです。鴨川LCは創立以来 27 年を迎え、今や 57 名を擁する所帯となりましたが、メンバー全員際立って“強物”もいなければ、“くせ物”も居らず、品行の良いのが何よりの特徴と思います。例会でも極端に片寄った意見は出ず、比較的なごやかな雰囲気で終始するといった状況で、このことはまた逆に言えば、一丁事ある場合の盛り上がりには欠けるといった平凡さはあるが、また、玉獅会メンバーを集り、毎年 4 回程度ゴルフコンペも開催されますが、毎回約半数の出席があり、スコアの良し悪しに関係なく、プレー中はもちろん、プレー後のパーティにおいても非常になごやかで、誰一人“はみ出し物”は居らず、非常に楽しい一日を過ごすことができます。

この様に、鴨川LCメンバーは全員品行良い紳士が多

く、私共の自慢できるものの一つと思います。

鴨川LSC

残してくれた「心の財産」

L S. 関 澄 江

本日の例会（5月11日）の席で、地区ニュースに何か書くようにとの会長の言、クラブの事でなくても何でも良いから」とその積りで、快くお引受けして帰りました。家に帰り開いてみたらみんなクラブの活動状況でした。そのはずです、地区ニュースですもの、お引受けした以上何か書かないわけには参りませんので、私事で申しわけございませんが、「心の財産」と題しまして最近の私の心情をのべさせて戴きその責めを果させて戴きます。

私の主人は去る3月29日果物が咽喉につまり「誤飲性肺炎」ということで逝くなりました。主人は生前中は何かと色々皆様方のお力をかり、教員退職と同時に皆様のお仲間入りをさせて戴き大変楽しいクラブ員生活をさせて戴き本当に有難うございました。感謝申し上げます。その主人は財産らしきものは何一つ残しませんでした。でも主人はいくらお金を積んでも買うことの出来ない美しい「心の財産」を私達に残してくれました。

50年前に主人が船橋で教えた今65才になる30数名の教え子達は中学、大学どの学校で教わったどの先生よりも、小学校の5年と6年に教えて戴いた関先生が私の心の先生だと言ってくれ度々お見舞にもこられ今回もよくお線香をあげにきてくれます。先生として何と嬉しいことでしょう。

○はるけしよ かつての子等は65才

いまわも恩師と呼びくる幸

また主人は終戦後習字が教科から外されると同時に、家を開放して30年に近い年月大人にも子供にも無報酬で日曜は一日も休みなしで、指導にあたりました。そし

て上手に伸びる教え子達の姿をみて喜んで居りました。

また44回（1年1回）にも及ぶ全国書道展、毎年何10万もの赤字を出し、地方書道文化の発展に貢献するためと継続しつづけて参り、また何10回になりますか清澄の勉強にきた子の子どもがまた清澄に来ているという長い年月の講習会も千葉の中村先生外多数の先生方のお力でつづけて居りますが、沢山の赤字を出し、自分の道楽だと喜んで居りました。個展を致しましても、表具代も会場費も予算外で売上代金はすべてライオンズと市に寄付を致し、また韓国での個展も旅費滞在費等全く関係なく売上代金はすべて韓国に寄付し残った作品は福祉の施設に全部寄贈しました。また韓国の人間国宝の安東五先生との合作展の時も全く同じ安先生への謝礼もその他一切考えずに売上げ金は鴨川市と天津小湊町にさしあげました。

でも人間国宝の安先生は何か主人がお好きなようでした。鴨川会場で、「先生先生は沢山の有名な大家に先生の作品に書かせて下さいといわれてもことわりつづけていらっしゃるとおっしゃっておいでなのに何で名も無い私の主人に先生から『一緒にやりましょう』とおっしゃったのですかとおたずねしたら、「何でも無いよ唯関さんが好きだからだよ」それだけのお返事でした。先生のそのひとことは私には一生わすれる事の出来ない大切な大切な一言です。

主人は頑固で、我儘なこわい人のようでしたが、主人の一生は書一すじだけでなく、何か人の心を動かすかくされた力、やさしさ、人を愛する心、無欲、つらぬき通す偉大な力、をもち、自分の思う通りに生きてきた人の様に思えます。700人を越す参列者、30にもあまる沢山の花輪、沢山の沢山の生花、78通にも及ぶ弔電、そして今もまだ知らなかったと毎日お線香を上げにきて下さる数人の方、この澤山の方からよせられた心のぬくもり、

○山のごと 集いくれたる葬送の人らに夫は
送られて逝く

○美しき花また花にかこまれてぬくき人らに

送られるる夫

50年前の船橋の教え子の尾方さんは「これは、みんな先生がまかれた種ですよ」と、その言葉は私を喜ばせてくれます。

皆様からこんなにも愛され尊敬されていた夫、今更いい人だったんだなとつくづく思います。私は主人の教えてくれたこの美しい心を、そして残してくれた「心の財産」を大切に守りつづけて生きて行く覚悟でございます。

リジョンの頁

7R

地区ACT資金設立記念

チャリティーゴルフ大会

7R1Z ZCL 中川都弘

第7リジョン第1ゾーンでは、今年度吉田ガバナーの最重点目標であります地区ACT資金が設立された事を記念して、その資金獲得の為にチャリティーゴルフ大会を開催するはこびになりました。今後の奉仕事業は一刻と変る社会状況にあわせて考えて行かなければなりません。千葉県にACT資金ができ、県下社会福祉事業のため、又環境問題、災害救助のため、吉田地区ガバナーの意志を御理解賜り、地区をあげて御協力及び親睦を計りたいと存じますので、是非共大勢の方々の参加を戴きたく御案内申し上げます。尚、収益金より140万円をACT資金として寄付をしたいと計画しております。

期日 平成4年6月8日(月)

コース 長南カントリークラブ

TEL 0475-46-2311

7R1Z

白子LC

白子町に源氏螢を飛ばそう

白子ライオンズクラブでは鶴岡会長の下、自然環境保護委員会を設置する事を決定、目的としては最近の町内の小川には平家螢が少なくなってきたあまり見られなくなった事。この螢をテーマに飼育する事を計画、ふたたび町内に飛ばす事とした。前会長の長谷川ライオンが委

員長となり活動を開始した。早速、6月の末には大原町で螢の保護に力を入れている渡辺氏を訪問し、川の汚れの掃除、ヒル退治の方法等を学ぶ。又螢の卵から幼虫までの飼育をビデオに撮り勉強会を開催、会員の協力を促す。其の後、睦沢町で採集した源氏螢の雄雌数十匹を網に入れ山ゴケと一緒に数週間水を与えながら卵を生まれ委員長宅他3名のメンバーの家で飼育を開始する。8月の中旬には会長他3名が長野県辰野市在住の螢の権威者である勝野氏を訪ね施設見学、その足で志賀高原の熊の湯まで行き、実際飛んでいる螢を見学する。この地は6月から9月一杯まで源氏螢が飛んでいることで有名な所です。9月には千葉市泉公園の螢の施設見学会を開き会員が全員参加して大変興味を持ちました。9月の末には白子町浜宿の場所に600㎡の土地を借りうけ会員全員で螢の施設を1日で完成させ、いい汗をかきました。

その後各メンバーが自宅で飼育していた幼虫を持ちより、12月初旬に施設へ放流しました。源氏螢のエサになるカワニナの飼育の方も大変な仕事で各ライオン宅で水槽にかい育てた貝を持ちより、月の内3回放流し幼虫



も元気良く活動しているのが見られ冬場でも地下水を利用しているので16度の水温を保ったのが成功した要因だと思われる。又町内の小中学生にこの卵から幼虫になるまでの経過を説明した。来年度より各学校に（小学校3校、中学校1校）その設備等一切を白子ライオンズクラブより寄贈する事にしている。1992年6月には町内に初めて源氏螢が飛び交う事を確信してやまない。

7R1Z

長南LC

特別養護老人ホームへ慰問

3月18日 長生共楽園（特別養護老人ホーム）を慰問しました。6年前長南町の人が数人お世話になっていると知り、淋しくややもすると希望を失いがちなこの人たちにひとときでも楽しく過ごさせることが出来たならと老人ホームの慰問を計画、以来継続事業として毎年実施し、今日に到っています。

本年も福祉委員を中心に歌と踊りと詩吟の三つを披露しお土産に果物を持参しました。当日は日本舞踊の花雅実流の家元花雅実寿佳師匠が日本舞踊を披露して下され、又詩吟教授渡辺師匠の朗詠も素晴らしくホームの方々には大変喜んで頂きました。



長栖LC

季節の花をかざる

地域の環境美化活動の一環として、町役場ならびに町中央公民館へ花を寄贈することにいたしました。美しく、長持ちのする花としてどんな花が適切かと、けっきょく次の花を選定いたしました。

①マリゴールド。②アネモネ。③ペゴニヤ。④マツバギク。プランタは20個、草花80鉢（ビニール入）プランタに入れる花肥（土）は袋入20袋。委員会の了承、全体会議の報告、承認を得たので、実施することにいたしました。

草花、花肥（土）プランタ等をクラブ員のご協力で整える事ができました。

プランタには、寄贈・長栖町ライオンズクラブと書くことにいたしました。

このプランタには、エナメルを、シンナーでうすめて書くわけです。緊張して5、6校書いているうちに何だか頭がぼーとしてきた。やあ、これとは思ひ急いで屋外へ出てタバコを1本くゆらす。そのうちに気分もどうにか正常にもどった。残りのプランタを書きあげました。終わって濃い茶をいっぱい飲んだ。

明日の作業は午前9までに、公民館へ集合することになっていた。

朝から好天気に恵まれ、予定人員より、すくなかったが、クラブ員の積極的なご協力で作業も、はかどりました。プランタにはな肥（土）がぴったりと入り、草花をプランタに4鉢ずつビニールをとって植え込む、それも種類別にとりまぜて。

役場の方へプランタ10個運ぶ、配置については役場の職員へ連絡、玄関の両側へ設置いたしました。水かけなどの管理はお願いすることにいたしました。

最後に役場・公民館の職員の方々に入ってください記念写真を撮りました。

この作業を終わったのが午前10時20分頃でした。白いプランタに黒いエナメルの文字なのでよく目だった。この活動は年2回（春・秋）継続していきたいと思っています。ひとつのことをやることは、その内容がささやかなものであっても、それなりの苦労もありますが、また楽しみもあります。

地域の方々が役場・公民館など訪れたときなど、この花を見ていただき、すこしでも心の安らぎを感じていただければ幸いに存じます。

クラブ員の皆様ご協力ありがとうございました。



7R2Z

成東LC

成東ライオンズクラブCN 10周年記念式典の案内

来たる6月7日（日）成東ライオンズクラブCN10周年記念式典を吉田ガバナーをはじめとしてキャビネット役員ブラザークラブ、又一般御来賓をお迎えし、成東町中央公民館に於いて挙行する事になりました。早10年の歳月が流れたと感慨の気持ちが一杯です。10年の歩みの中で、我々のクラブでは青少年健全育成、又老人福祉問題等、地域社会のニーズにこたえながら活動や奉仕事業を進めてきました。今後の方針は次期会長のリードにまかせるとしてもメンバー各自の意識と発達の転換をもって大いなる原動力とし、クラブ内の統一をはかっていきたいと決意して新たなる出発とします。

今後共、御指導、御鞭撻を切にお願い申し上げます。

活動するライオンズ

松戸中央LC

11年目を迎えた芋掘大会

我がクラブの事務局は、松戸市内でも中心にあります。一昨年、メンバー石橋寿三ライオンの提供により自宅の所有地に事務局を建築して頂き実費程度でお借りしている極めて恵まれたクラブです。更にこの土地に隣接した農地約150坪をご提供いただき、我クラブ社会福祉委員会が「身体障害児」をお招きし、芋掘り大会を実施し今回で11回目を迎えました。地価高騰の中、11年間も継続して、開催していることは、私たちメンバーは、大変

誇りに思い、メンバー石橋寿三ライオンに感謝しているところです。

今年も10月21日に予定され、お招きする身障児（松戸市手をつなぐ親の会）200名、御父兄、そして、メンバー全員参加で、楽しいイベントが展開されます。

平素自然との関係の薄い子供さん達が、土の匂いに親しみを感じ大きく育ったお芋（紅あずま）の収穫に歓声を挙げる姿を見たとき、この企画をたてた我クラブメンバーの最も喜びを感じる時であります。

苗植えの4月初旬より、6月、7月、8月、のつる返し、追肥、そして、収穫直前のつる刈りなど、子供さんに喜んで頂くため約半年間、メンバーの努力の積み重

ねが行われていきます。

我々このアクティビティは、事情の許されるかぎりこれから継続していきたいと考えています。



船橋ポートLC

老人大学同窓生 バスハイク登山

4月12日(日)老人大学同窓生による丹沢大山登山バスハイクを船橋ポートライオンズ社会福祉委員会を中心に行いました。当日は、うす曇ながら和気合々のもと大成功に終わることができました。

当クラブ主催のアクティビティとしては一番新しい催ですが、36名の募集をしましたところすぐに締切りになり、皆で行動することに大変な関心を持っている事を再確認致しました。事故、不満等諸々の心配をよそに、若干名の山の専門家によるボランティアに助けられ最後まで目的を達する喜びを老人の方達に思い出してもらう事ができました。規模を大きくすることは難しいアクティ



ビティですが、老人の方達の来年に対する期待の声を聞き、何とか継続していけるよう我クラブ全員で頑張りたいと思っております。

四街道LC

タイ青年がホームステイ

ライオンズ・クラブの「青少年交換学生」事業で来日したタイ青年が、四街道市内の家庭にホームステイして交流を深め10日、名残を惜しみながら帰国した。青年は「日本人は親切で、貧富の差がないのに驚いた。日本をもっと知り、タイ社会の発展に生かしたい」と、滞在中の感想を語っている。

YE(青少年交換)で来日したのは、タイの首都バンコク在住、国立チュラルコン大学4年、キティ・タンキッテブッさん(21)。

先月20日から3週間、四街道市鹿渡1081、会社社長、原正史さん(52)方にホームステイしていた。

商社に勤務した関係で外国での生活経験が豊富な原さんは、四街道ライオンズ・クラブ(中沢寛義会長)の国際強調委員長を努めており、YEの受け入れは6月から8人目になる。

滞在中、タンキッテブッさんは雪の新潟や富士、箱根、横浜など東日本の各地をはじめ国会議事堂、最高裁判所、国立科学博物館などの施設を見て回った。

県内では銚子の犬吠崎、佐倉の国立歴史民俗博物館、ディズニーランドなどを訪問。大学では工業化学を専攻しているが、東京・秋葉原の電気街にも出かけた。

初来日だったが、本国に比較して、公共機関などでの社会的弱者に対する設備や近代的な輸送機関の発達、ドライバーのマナーの良さ、博物館など文化施設の充実などの印象を強くしたという。

また「日本の古い伝統的システムと近代化された最先端技術がうまく取り入れられ、貧富の差が少ないのに驚

いた」と、感想を漏らす。

帰国後は、石油会社でエンジニアとして働くことになっているが、東南アジアでの日本の役割について「日本の優れたプランニングが東南アジアの輸送システムに生かされれば、地域交流促進の大きな力になるのではないかなどと期待を語った。

原さんが英語やタイ語を話すため、お互いのコミュニケーションも深まり、「四街道は第2のふるさとです」と、千葉県がすっかり気に入った様子。

日本の国民性を「規則正しく、管理能力に優れている。これを見習えばタイも進歩するだろう。行動力もある」と評価したが、「でも、忙しそう」と、アリのよう働きぶりにチョッピリ同情も。

タンキッテブッさんは10日に帰国したが、今度は原さん家族が29日から8日間プライベートでタイを訪問、国際交流を深めることにしている。

チャリティパーティー

11回目もお陰様で成功

千葉京葉ライオネスクラブ

会長 L.S. 石川 もり子

2月9日(日)千葉京葉ライオネスクラブでは、千葉市、ホテルニューツカモトで、クラブの主要な事業である社会福祉関係へのACT資金の獲得を目的とする“チャリティ・パーティー”(実行委員長L.S.御園生信久江)を開催した。

“愛と奉仕で平和な世界”をスローガンに掲げたこのチャリティ・パーティーは、当クラブ独特の事業の一つで昭和56年に第1回目(会長L.S.桜木縫子)が行われ、年に一度、クラブメンバー全員が一丸となって取組むかたちでつづけられており、今回で11回目を数えるもの。

親クラブである千葉京葉LCが後援して下さっており、同じように千葉エコーLCなど各友好クラブからも例年

力強く、かつ暖かいお力添えをいただいている。

11回目の今回はメンバーの懸命な努力と各方面のご理解によりさらに充実度を増し、ACT資金も総額140万円に達した。そして贈呈先も二つ増え、千葉県の社会福祉関係、千葉市の社会福祉関係、千葉市精神薄弱者育成会、豊岡光生園、千葉県アイバンク協会、千葉いのちの電話、社会福祉法人清輝会精神薄弱者更生施設エルビザの里、と七つを数えた。

パーティー当日は親クラブ、市内友好クラブの積極的なお力添えのおかげで各界各方面からおよそ500名様にご参集頂き、所期の計画どおりACTを果すことが出来た。また、地区ガバナーL.吉田をはじめ、沼田千葉県知事、松井千葉市長ら多くのご来賓からクラブ活動推進への意欲を新たにす頼もしいメッセージを頂戴して感激した。

お集り頂くお客様にできるだけお楽しみいただき、併せて実りあるチャリティ・パーティーにするため歴代実行委員長、メンバーが一番苦心するのがディナータイムとアトラクションのプログラムづくりである。

今回はディナータイムに「塚田満穂&マトリックス」(コンボバンド)を、アトラクションに明大マンドリン倶楽部を設定した。お客様が満足していただけたかどうか、いつものことながら少々不安が残った。

司会役には当初からお手伝いをお願いしている元NHKアナウンサー酒井廣さんに、今回も例年どおり汗を流していただいた。



市原南LSC

3R3Z会長 LC. 林 淑子

親クラブの市原南ライオンズで受入れたYE生を私達ネスクラブでも、2、3日ずつ、受入れようとの話がありましたが、それは無理という事になり、何か……と、考えましたが、会長の林さんのホテルで、ちょうど結婚式の行われる日、美容師さん、衣装屋さん、写真屋さんの協力を得て、YE生に日本の花嫁衣装を着せ、記念写真をとって、プレゼントしようという話になりました。当日、とてもきれいになった自分の姿をみて、大変喜んでくれました。

きちんとした花嫁さんの記念写真を例会の日、会員の前で会長よりプレゼントされ、とてもよい思い出が出来たと喜んでおりました。



大栄LC

大栄ライオンズCN

20周年行事盛大に举行

大栄ライオンズクラブCN 20周年式典行事が、4月12日(日) 新装なった大栄コミュニティホールを会場として盛大に举行されました。当日は、水野清衆議員、町長を始め町内各種団体長、吉田ガバナー、長島

前ガバナー等多数の来賓が出席され、記念事業の発表、来賓祝辞のたびに万雷の拍手が湧きおこりました。最後に力強いロアーがホールいっぱいに響きわたり、予定通りに終了しました。

祝賀会は、近くの津富油小学校体育館において、橋口名誉顧問の発声によって開かれ、特設のテーブルや紅白の幔幕が雰囲気盛りあげ、レデーの揃いのユニフォームでの接待にいっそう華やかなものとなりました。歌謡ショー、ラッキープレゼントと宴は続き、「また逢う日まで」で友情の絆を固めながら閉宴となりました。

緑化運動の一環として、記念品の外、町のシンボル「サザンカ」の苗木まで配られ、春爛漫にふさわしくすばらしい一日となりました。

銚子中央LC

4月19日。銚子中央レオクラブは、銚子中央LCがスポンサーとなり県下6番目のレオクラブとして発足。

市内栄町威徳寺(例会場)で結成式(第一例会)を挙げた。目を輝かせて15名のメンバーは、橋口地区名誉顧問や深澤会長らからラベルボタン、ループタイ、帽子を授与され、全員でレオの誓いを唱和、レオの歌を合唱した。

来賓を代表して、大木リジョンチェアマン、笹本地区レオ委員長らから、『全員立派なレオに成長して下さい。今日は本当におめでとう。』とお祝いの言葉があった。



4月13日午後3時半、銚子駅に集合したメンバーは、

乗降客や通行人、特に下校時の学生達に向かって、薬物乱用防止キャンペーンに汗を流した。かねて協賛の依頼があった銚子保健所の係官や、このことを聞いてかけつけてくれた中央地区民生委員の有志の方々の協力もあって、盛況裡に終了することが出来た。



15人のメンバーで発足

鉾子中央レオクラブ

県内で6番目の結成

先日本紙でも会員を募集した銚子中央レオクラブの結成式(第一例会)が十九日、銚子市栄町の感徳寺で行われた。同クラブは、銚子中央ライオンズクラブ(深澤照豊会長)がスポンサーになり、県内で六番目の

ライオンズクラブ（深沢
照豊会長）がスポンサー
になり、県内で六番目の
レオクラブとして発足し
た。社会奉仕活動を通じ
て、地域に貢献する精神

レオクラブとして発足した。社会奉仕活動を通じて、地域に貢献する精神はライオンズクラブと同様だが、小学三年生から中・高校生までの次代を担う世代を、心豊かに育むのが目的。十五人のメンバーでスタートした。

レオの歌を聴った。
大木三郎リジョンチエ
アーン、並木原地区レオ
委員長から「金員立派
なレオに当たってください
き」とお説きの言葉。レ
オ間の常世田耕作しは
レオの活動を通じ、社
会に、初代会長には田
中実レオが就任した。田
中オクラベメンバーは次の
みなさん。
※（一）内は年齢・保
護者・住所の順
ワリダー川田中孝（二）
四、幸雄、松原町、田中
努（二）、幸雄、東京都

な。初代会長には田中実しオが就任した。レオオクラブメンバーは次のみ。なさん。

※(一)内は年齢・保護者・住所の順

ワリダー(田中孝二) 四、幸雄、松岸野、田中努(二)、幸雄、東京都

遠男、小松木野、木村達(一四)、忠史、岡、山、柳瀬博史(二二)、健治、長堤野、高野路乃(二〇)、順子、徳崎町) 二十五人

た。

「オラネツタラのセツト」は、Wee Serv-
レオラは「オラネツタ
ラ」のセツトは、Wee T-
mp（オラネツタ）は
「オラネツタ」のセツト、十
五人のメンバーは、先
新ライオンに負けたい大
で、「ウー」という声
を上げ、今後の活躍を誓

△会長 江田実（二八）
▽副会長 松野久（二八）
△書記 松野久（二八）
▽加藤出子（二五）道高
小沢町 マチ子 野村
婦子（二五）美恵
町 マチ子 副会長
△書記 一馬 明神
町 マチ子 毛石
町 長山 鹿
高橋（二一）定康 小
新町 小津和
（四）朝倉 川口
里澤也（四）一郎
町 宮崎子（三）

「ウォー」とほえるレオクラブのメンバー＝鉄子
市栄町の威徳寺で



常世田耕作レオ顧問

飯町)
 (三部 (一四十二))
 ▽総合優勝 (紅白)
 藤原光三郎 (春日町) ▽

▽ (昭和三色) 優勝 大
 木仲藩 (海上町) ▽ (衣
 優勝) 佐軒朝治 (黒生町)
 ▽ (大正三色) 池優勝

▽(昭和三色) 優勝||太
木伸勝(海上町)▽(衣
優勝)||佐軒朝治(黒生町)
▽(大正三色) 池優勝||

又細川美子(二五) 道高(四五)
○金井長田中実(一八)
○藤根、松原(四) ○特小
小阪町(二五) 美恵、春男
町(一) △第一副会長 大木
智史(三四) 福明
町(一) △理事 石毛和夫
四草雄、長山町、徳
高直(二)、定敏、小畑
新町(一) △会員 今津和也
星普也(二四) 一郎
○明神町 宮内彰子(二)
邊野、小島本町、水田
美(四) 忠史
御千鶴(二四) 長山町
昭和博史(二)、健治
順子、榮崎町(二五)人

千葉京葉LSC

千葉ライオネスクラブの会員は、「女性のやさしさと、きめ細かさを生かした奉仕」をモットーに、次代を担う青少年の健全育成、心身障害者及びその施設への援助、献血等の奉仕に努力を重ねてまいりました。

今回ご協力を頂きましたチャリティパーティーも、日頃から社会奉仕に深くご理解下さる皆様のご支援のもとに、“愛と奉仕で平和な世界”の輪を、少しでもひろげることができればと願い第11回目を開催いたしました。

第11回チャリティパーティー

2月9日(日) 第11回チャリティパーティー (振替例会)

ACT資金 140万円

千葉県社会福祉基金 30万円

千葉市社会福祉基金 20万円

読売新聞社(豊岡光生園) 25万円

千葉市精神薄弱者育成会 25万円

千葉県アイバンク協会 20万円

社会福祉法人エルビザの里 10万円

千葉いにちの電話 10万円

出席人数 500余名



(財) 千葉県アイバンク協会への拠出金一覧

4 月末日現在

R	Z	クラブ名		R	Z	クラブ名			
1	1	市川	100,000	4	1	銚子	57,000		
		市川東	42,000			佐原	100,000		
		下総中山	42,000			東庄	37,000		
		浦安	48,000			神崎			
		行徳	36,000			大栄	40,000		
		市川北				栗源			
		浦安シーサイド	33,000			銚子中央	51,000		
		小計				小計			
	2	松戸	74,000		2	八日市場	34,000		
		流山	53,000			旭	100,000		
		松戸中央	62,000			総武中央	47,000		
		松戸東	57,000			飯岡			
		野田	62,000			多古	39,000		
		松戸ユカリ	50,000			千潟	41,000		
		関宿				山田町	48,000		
		松戸南				光	26,000		
	小計		小計						
	3	柏	75,000		5	R 合計			
		我孫子	20,000	1		木更津	50,000		
		柏中央	80,000			木更津中央	51,500		
		柏グリーン	66,000			袖ヶ浦			
		印西	200,000			木更津金鈴			
		柏オーク	100,000	小計					
	小計		2	富津		42,000			
	R 合計			上総		84,000			
2	1	船橋		46,000		君津	63,000		
		船橋中央		89,000		君津中央	34,000		
		鎌ヶ谷	48,000	小計					
		沼南	19,000	R 合計					
		船橋ポート	100,000	6	1	館山	56,000		
		小計				鋸南	40,000		
2	習志野	54,000	館山中央			61,000			
	八千代	56,000	館山北			27,000			
	船橋東	300,000	館山南			40,000			
	船橋京葉	100,000	小計						
	船橋北	37,000	2		鴨川				
	習志野中央	36,000			房州白浜	38,000			
八千代東	36,000	房州朝夷			20,000				
小計		房総勝浦							
小計		小計							
R 合計			R 合計						
2	1	成田	77,000	7	1	茂原	58,000		
		佐倉	41,000			上総一宮	33,000		
		四街道	63,000			茂原長生	38,000		
		酒々井	28,000			白子			
		成田グリーン	48,000			長南	42,000		
		成田平成	63,000			長柄			
		八街グリーン	30,000			小計			
		富里				2	東金	43,000	
		小計					大網白里		
	2	千葉葉	80,000		九十九里		36,000		
		千葉中央	54,000		成東				
		千葉若潮			小計				
		千葉ポート	100,000		R 合計				
		千葉幕張メッセ			8		柏 L S	27,000	
	小計		流山 L S				16,500		
	3	市原					船橋中央 L S	26,000	
		千葉エコー	69,000				君津 L C	9,000	
		市原南					鴨川 L S	15,000	
		千葉京葉	66,000	千葉京葉 L C			250,000		
		小計		個人、佐原 L C. 2人			200,000		
	R 合計			第 5 R			100,000		
	R 合計			総合計			3,940,000		

LCIF 送金状況

1991.7~1992.4 MR報告

R	Z	クラブ名	MTF・人数	クラブ献金	R	Z	クラブ名	MTF・人数	クラブ献金
1	1	市川		80,240	4	1	銚子		77,520
		市川東	4	57,120			佐原	6	137,360
		下総中山	4	58,800			東庄	3	50,320
		浦安	55	65,280			神崎	2	59,850
		行徳		50,320			大栄	2	54,400
		市川北	2	43,400			栗源	2	35,360
		浦安シーサイド	2	50,540			銚子中央	2	67,830
	2	小計				2	小計		
		松戸	2	104,390			八日市場	2	48,300
		流山	5	73,140			旭	3	112,000
		松戸中央	3	86,800			総武中央	3	65,800
		松戸東	12	80,640			飯岡	2	63,920
		野田	4	85,400			多古	2	54,400
		松戸ユーカリ	7	69,000			千潟	2	56,580
	3	関宿	8	30,360			山田町	5	64,400
		松戸南					光	1	36,400
		小計					小計		
		柏	22	102,000		5	R 合計	37	984,440
		我孫子	2	27,600			木更津	2	44,640
		柏中央	25	112,000			木更津中央	2	46,200
		柏グリーン	6	389,700			袖ヶ浦	3	58,480
		印西	3	51,060			木更津金鈴	2	47,600
		柏オーク	10	88,200			小計		
		小計					富津	4	60,060
	R 合計		171	1,705,990		2	上総	3	
2	1	船橋		62,100			君津	3	86,940
		船橋中央	21	121,440			君津中央	3	47,600
		鎌ヶ谷	2	60,200			小計		
		沼南	2	27,600			R 合計	22	391,520
		船橋ポート	6	66,751		6	館山	2	77,000
	2	小計					鋸南		55,200
		習志野	17	60,200			館山中央	2	85,400
		八千代	4	74,880			館山北	2	37,800
		船橋東	20	140,760			館山南	3	56,000
		船橋京葉	3	39,200			小計		
		船橋北	4	51,060		2	鴨川		81,200
		習志野中央	3	50,400			房州白浜	2	50,540
		八千代東	2	49,680			房州朝夷		
		小計	84				房総勝浦		107,440
	R 合計			804,271			小計		
3	1	成田	2	102,410			R 合計	11	550,580
		佐倉	1		7	1	茂原		82,940
		四街道	1	81,840			上総一宮	2	43,890
		酒々井	1	39,200			茂原長生		54,600
		成田グリーン	2	65,280			白子		
		成田平成	1				長南		57,200
		八街	2	44,880			長柄	1	
	2	八街グリーン					小計		
		富里				2	東金	3	63,000
		小計					大網白里	2	54,000
		千葉葉	3	108,800			九十九里	2	50,400
		千葉中央	3	73,440			成東	2	30,240
		千葉若潮	1	57,190			小計		
		千葉ポート	2	246,550			R 合計	12	436,270
	3	千葉幕張メッセ				2	流山		23,460
		小計					市原南	1	
		市原					木更津金鈴		16,800
		千葉エコー	2	80,040			君津中央		9,800
		市原南	1	63,920			館山		12,600
		千葉京葉	2	74,800			L S 小計		62,660
		小計							
	R 合計		24	1,038,350			総合計	362	5,974,081

3 3 3 - C 地区 M J F 名簿

1991.7 ~ 1992.4

R	Z	ク ラ ブ 名	人数	M	J	F	名
1	1	市 川 東	4	齊 藤 慎 司	立 石 秀 春	林 一 公	
		下 総 中 山	3	田 辺 誠 次 郎	石 井 正 勝	巴 田 川 正 文	
		浦	51	松 丸 善 茂 和 徹 彰 尋 勉 夫 夫 一 郎 三 尚 雄 一 郎 夫 利 男 明 夫 三 三 則 基 一 夫	鈴 山 木 正 吉 謙 菊 勇 一 美 傳 孝 彦 郎 保 樹 重 雄 一 男 作 吉 郎 一 郎 臣 正 典 司 明 修	宇 阿 岩 宇 ウイリアム・ビトン 塚 本 川 藤 山 棚 村 垣 田 野 塚 佐	隆 修 義 作 ン 博 次 男 郎 生 盛 治 司 清 夫 行 勇
				内 太 岡 亀 小 鹿 鈴 田 中 浜 丸 吉 田 山 伊 中 江 染 石 関 久 山 田 高	梅 大 岡 川 佐 篠 醍 谷 長 平 山 渡 峯 小 越 渡 椎 松 大 小 島 上 水 大	大 折 古 佐 杉 醍 中 西 福 吉 大 比	
1	2	市 川 北	2	山 岸 藤 川 原 野 橋 川 我 中 原 橋	小 越 渡 椎 松 大 小 島 上 水 大	豊 島 啓 行	
		浦 安 シーサイド	2	伊 中 江 染 石 関 久 山 田 高	小 越 渡 椎 松 大 小 島 上 水 大	清 小 川 林 紺 山	
		松 戸 山	2	伊 中 江 染 石 関 久 山 田 高	小 越 渡 椎 松 大 小 島 上 水 大	丹 黒	
		松 戸 中 央 東	3	伊 中 江 染 石 関 久 山 田 高	小 越 渡 椎 松 大 小 島 上 水 大	清 小 川 林 紺 山	
		松 戸	12	伊 中 江 染 石 関 久 山 田 高	小 越 渡 椎 松 大 小 島 上 水 大	清 小 川 林 紺 山	
		野 田	4	伊 中 江 染 石 関 久 山 田 高	小 越 渡 椎 松 大 小 島 上 水 大	清 小 川 林 紺 山	
		松 戸 ユーカリ	7	伊 中 江 染 石 関 久 山 田 高	小 越 渡 椎 松 大 小 島 上 水 大	清 小 川 林 紺 山	
1	3	関 宿 柏	3	伊 中 江 染 石 関 久 山 田 高	小 越 渡 椎 松 大 小 島 上 水 大	清 小 川 林 紺 山	
			22	伊 中 江 染 石 関 久 山 田 高	小 越 渡 椎 松 大 小 島 上 水 大	清 小 川 林 紺 山	
		我 孫 子 柏 中 央	2	伊 中 江 染 石 関 久 山 田 高	小 越 渡 椎 松 大 小 島 上 水 大	清 小 川 林 紺 山	
			25	伊 中 江 染 石 関 久 山 田 高	小 越 渡 椎 松 大 小 島 上 水 大	清 小 川 林 紺 山	

R	Z	クラブ名	人数	M	J	F	名
				進藤良隆 加藤芳雄 加藤喜桂 浅谷桂定 谷関清 高田興 藤赤穂 寺富一 武並克 矢田正 平織伯 小森長 羽雅 平英 浜一 小大政 吉晃 竹安芳 故博 平正 大彰 押英 荒植光 佐洋 実博 林行 森鈴 鈴石 神周 山吉 中宮	之畔高下 山崎崎 上野田 増金子 萩原 岡田 浅野 広木 佐久間 小田山 林川 行木 水橋 鈴原 高橋 藤馬 元崎 相島 川口 桑渡 田久 保塚 石林 小取 名井 石石 興水 清中 田多 本口 山井 桜久 高川 小村 田岡	幸和和幸 司敦敦司 郎四正郎 勝正一元 仁宣 昭二 一清 利史 誠丞 司一 章郎 夫秋 三功 義惇 作雄 登駿 雄一 尾雄 雄二 治男 一郎 子雄 嘉哲 恒	高田直寛 鈴木本賢 根沢本聰 根本静 後藤隆 杉浦清 上原政 藤井松 中嶋利 広瀬秀 木村吉 神田泰 永井進 酒井康 山典 松芳 高義 堀義 鈴木正 竹孝 望良 武勇 小保 宮廣 阿多元 稲元 近藤 田田 野岡 村崎 川谷 大端 北保 路
		柏グリーン	6				
		印西 柏オク	3 10				
2	1	船橋中央	21				
		鎌ヶ谷 沼南 船橋ト	2 2 6				
2	2	習志野	10				
		八千代	4				
2	2	船橋東	20				
		船橋京葉 船橋北	3 4				
		習志野中央 八千代東 成田倉 佐田井 四酒街々	3 2 1 1 1				
3	1						

R	Z	クラブ名	人数	M	J	F	名
3	2	成田グリーン 成田平成 八千中街 千葉中央 千葉若潮 千葉ポー 千葉エコー 千市原 千佐京 佐原	2 1 2 3 1 2 2 1 2 6	岩立忠雄 岩沢治衛 秋葉藤 中村勝 矢田常 山田右 小川重 尾中祇 御園生 渡邊 長島 小野 青橋 石谷 三平 橋口 神子 江畑 吉岡 砂子 平山 米本 高林 椎遠 佐々木 木宮 高和 高松 松村 鈴松 野武 中半 本大 鈴高 林	鈴木 長谷川 霜小川 松井川 三崎 山崎 島崎 高橋 渡邊 後藤 竹堀 土屋 林藤 伊邊 渡鳥 白岡 岩川 越木 並海 鳥井 石妻 我田 卯平 藤	義建 一礼 次郎 弘 雄夫 逸夫 弥脩 治男 夫恵 也樹 紀志 雄和 忍一 一雄 良實 平 次彦 雄明 夫泰 夫之 男祐 隆修	綿高 引山 正照 直裏 石横 永 橋川 井 直喜 一郎 祐總 夫一 義憲 寛治 満真 孝章 宏 敏 昇
3	2	東神大 栗大 桃八	3 2 2	東神大 栗大 桃八	東神大 栗大 桃八	東神大 栗大 桃八	東神大 栗大 桃八
3	3	子日旭 武中 飯多 千山	1 2 2 2	子日旭 武中 飯多 千山	子日旭 武中 飯多 千山	子日旭 武中 飯多 千山	子日旭 武中 飯多 千山
4	1	木更津 中津 金	1 2 2 2	木更津 中津 金	木更津 中津 金	木更津 中津 金	木更津 中津 金
4	2	上君館 館山 館山 館山 館山 房上 長東 大九 成市	3 3 3 2 2 1 3 2 2 1	上君館 館山 館山 館山 館山 房上 長東 大九 成市	上君館 館山 館山 館山 館山 房上 長東 大九 成市	上君館 館山 館山 館山 館山 房上 長東 大九 成市	上君館 館山 館山 館山 館山 房上 長東 大九 成市
5	1	津中央 浦鈴 津	3 3 3 2 2 2 2 2 2 1	津中央 浦鈴 津	津中央 浦鈴 津	津中央 浦鈴 津	津中央 浦鈴 津
5	2	總津 中央 山北 南浜 宮柄 金里 里東 S	3 3 3 2 2 2 2 2 2 1	總津 中央 山北 南浜 宮柄 金里 里東 S	總津 中央 山北 南浜 宮柄 金里 里東 S	總津 中央 山北 南浜 宮柄 金里 里東 S	總津 中央 山北 南浜 宮柄 金里 里東 S
6	1	津山 山白 一	2 2 2 2 2 2 2 2 2 1	津山 山白 一	津山 山白 一	津山 山白 一	津山 山白 一
6	2	房上 長東 大九 成市	3 3 3 2 2 2 2 2 2 1	房上 長東 大九 成市	房上 長東 大九 成市	房上 長東 大九 成市	房上 長東 大九 成市
7	1	網十 白九 南L	3 2 2 2 2 2 2 2 2 1	網十 白九 南L	網十 白九 南L	網十 白九 南L	網十 白九 南L
7	2	原南 L	3 2 2 2 2 2 2 2 2 1	原南 L	原南 L	原南 L	原南 L
3	3	成田 成田 八千 千千 千千 千市 千佐	2 1 2 3 1 2 2 1 2 6	成田 成田 八千 千千 千千 千市 千佐	成田 成田 八千 千千 千千 千市 千佐	成田 成田 八千 千千 千千 千市 千佐	成田 成田 八千 千千 千千 千市 千佐

物故会員（３月）

謹んで御冥福をお祈り致します。

年 月 日	御 芳 名	所属ライオンズクラブ	R・Z
３月６日	L. 鈴木 剛 夫	東 庄	４ R・１ Z
３月１２日	L. 小 高 忠 雄	市 原	３ R・３ Z
３月２９日	L. 関 国 蔵	鴨 川	６ R・２ Z

編 集 後 記

地区ニュース第６号をお届けします。本号は幕張メッセで開催された第３８回年次大会を主題にしました。写真の他に、なるべく年次大会の内容をお伝えするため、提出議案決議録や、分科会の研究討論テーマも詳しく掲載しました。その他松戸南ＬＣ、富里ＬＣのＣＮ、それからリジョンの頁は６Ｒ及び７Ｒに担当していただきました。此の一年間地区ニュースを発行の絶大なご協力をいただきました各リジョンのＰＲ情報委員の方々、Ｌ. 鈴木稔（１Ｒ） Ｌ. 桜井留治（２Ｒ） Ｌ. 鹿野国秀（３Ｒ） Ｌ. 勝股清（４Ｒ） Ｌ. 中野孝雄（５Ｒ） Ｌ. 川合敏男（６Ｒ） Ｌ. 篠崎修（７Ｒ）に感謝申しあげます。地区内全クラブの皆様１年間ありがとうございました。

地区ＰＲ情報委員長 Ｌ. 蒔田 辰男

同 副委員長 Ｌ. 山内 豊彦

地区ニュース編集委員 Ｌ. 鈴木 栄

同 編集委員 Ｌ. 吉川 昌三

絵画二題



飯山満光明寺
清成

L 中村清成（八千代LC）



岩崎 巴人氏
（館山LC 川合敏男推薦）

労 働 大 臣 許 可

庖勇会

割烹調理師紹介所

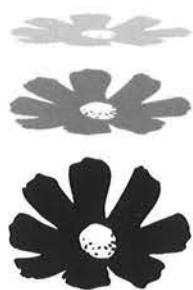
所長 佐 野 勇

(1991～1992 千葉ポートL.C. 会長)

〒260 千葉市中央区椿森3-3-1

河西ビル 3 階

T E L ・ F A X 043-255-1636



ちば興銀

きつともつとずつと。

「きつと」……信頼にお応えする努力の意気込み。
「もつと」……ご要望に添う前進の熱意。
「ずつと」……共に歩ませていただく貢献の意思。
私たちひとりひとりの胸に息づく

素直な言葉を口にしたなら、
こんなスローガンになりました。
私たちの夢は、

このスローガンをいつも心に通わせながら、
お客様とさらに固い絆で結ばれること。
いつも、いつまでも

ちば興銀は皆様とともに前進していきたいと思えます。





アメニティーな電気設備のパートナーとして。

KOURITU

高率電設株式会社

〒263 千葉市稲毛区緑町1丁目5番8号

電話 043 (242) 1 5 3 9 (代)

FAX 043 (247) 4 5 9 5

代表取締役 小川 重二 (千葉ポートL.C.)
(1992-1993.3R.ZC)